

平成29年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成29年度当初予算関係)

観光交流局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成29年2月定例会 議案説明資料目次

観光交流局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件名	課名等	頁
第 1 号	平成29年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	1
		観光戦略課	2
		交流推進課	61
		まんが王国官房	72
	2 組織改正に伴う移管事業一覧		78
3 歳入歳出事項別明細書		79	
4 節の明細		81	
5 債務負担行為に関する調書	観光戦略課他	83	

【予算関係以外】

報告番号	件名	課名等	頁
第 1 号	議会の委任による専決処分の報告について (8) 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	観光戦略課	84

議案説明資料総括表

観光交流局 (単位:千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光戦略課	1,853,337	1,360,795	492,542	123,393		50,302	1,679,642	
交流推進課	431,974	414,745	17,229			49,902	382,072	
まんが王国官房	161,571	106,914	54,657	2,281		16	159,274	
合計	2,446,882	1,882,454	564,428	125,674		100,220	2,220,988	

平成29年度の主な事業

(観光戦略課)

- ・ (新) 観光客の心に響く滞在型地域創造事業 16,000千円
- ・ (新) 「とっとり年は鳥取へキャンペーン」(観光団体向け観光需要回復支援事業) 10,000千円
- ・ サイクリストの聖地鳥取県整備事業(サイクルツーリズム推進事業) 29,500千円
- ・ (新) 平成30年山陰デスティネーションキャンペーン推進事業 53,000千円
- ・ (新) 旅情あふれる”鳥鉄の旅”創造事業 36,017千円
- ・ (新) 世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業 22,294千円
- ・ (新) 災害時における外国人観光客対応支援事業 2,250千円
- ・ (新) ロシアからの訪日観光客拡大事業 4,950千円

(中部総合事務所)

- ・ スポーツツーリズム推進事業(ウォーキングリゾートの推進) 15,117千円

(西部総合事務所)

- ・ (新) 伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業 96,332千円

(交流推進課)

- ・ (新) 【震災復興支援】北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット開催事業 28,560千円
- ・ (新) モンゴル中央県友好交流20周年記念事業 6,071千円

(まんが王国官房)

- ・ (新) まんが・アニメツーリズム推進事業 26,645千円

平成 29 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 2 目 計画調査費

観光戦略課 (内線 : 7 4 2 1)
 (単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	114,944	116,051	△1,107				114,944	
トータルコスト	116,534千円 (前年度 117,611千円) [正職員 : 0.2人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、指定管理料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等							
工程表の政策目標 (指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
夢みなとタワーの管理運営を指定管理者により実施する。								
・ 指定管理者 : 一般財団法人鳥取県観光事業団								
・ 指定期間 : 平成26年4月1日～平成31年3月31日								
2 主な事業内容								
(1) 指定管理料 113,286千円								
(参考) 5か年分の指定管理料 (上限額) 592,145千円								
(2) 指定管理運営評価委員会 67千円								
(3) 備品更新 (単位 : 千円)								
				内 訳	予算額			
				ヒートポンプチラー修繕業務	881			
				シアタースピーカーケーブル更新業務	710			
				合 計	1,591			

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとり年は鳥取へキャンペーン」（国内航空便利用対策促進事業）	40,000	34,000	6,000				40,000	
トータルコスト	47,948千円（前年度 41,798千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	県内航空路線を活用した県外からの観光客誘客促進							
工程表の政策目標（指標）	鳥取・米子両空港、県内外の鉄道及び高速道路ネットワークを活用し、近隣県の観光資源と連携した周遊ルートの造成やマンガ関係施設を巡る旅行等のテーマを設定した広域的な周遊ルートの造成等により、観光客の増加を目指す。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>県内観光需要の回復を目指すため、「とっとり年は鳥取へキャンペーン」を他事業の誘客事業と一体的に実施することとし、首都圏等からの個人旅行者向けの対策として県内航空路線及び観光PRを実施し、航空路線を利用した県外観光客の誘致促進を図る。</p>								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
旅行社と連携した観光情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行社店頭での鳥取県観光誘客キャンペーン ・ 旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信 							
国内線を活用した海外からの誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光客誘客のための情報発信（アジアなどからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進） 							
WEB旅行社連携による誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大手宿泊予約サイト運営会社と連携した個人旅行者取り込みのための鳥取県観光情報発信（春季・夏季・冬季にターゲットを絞った誘客を展開） ・ 米子鬼太郎空港で7～9月に運航が予定されているボーイング787便のキャンペーンもあわせて実施する。 							
<p>※平成28年11月補正予算において一部予算の債務負担行為設定済み （個人旅行者誘致のための宿泊及び観光情報発信事業 6,000千円）</p>								
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>県内の2空港（「鳥取砂丘コナン空港」「米子鬼太郎空港」）はまんがキャラクターの名前がつかい珍しい空港である。このことを鳥取県観光情報発信に活用し誘客を行った。</p> <p>また、鳥取砂丘コナン空港は「羽田空港発着枠政策コンテスト」により平成30年3月末まで1日5往復に増便されているところである。米子鬼太郎空港は平成29年6月から9月までの期間、山陰では初となるボーイング787型機（提供座席数335席）をはじめとする機材の大型化が予定され、これにあわせて同期間の提供座席数は約9%アップとなる。</p> <p>これらを好機ととらえ、平成29年度は鳥取県中部地震によって減少した観光需要の回復・増加を図るため、「とっとり年は鳥取へキャンペーン」として、他事業の誘客事業と一体的に実施することとする。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7221）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	13,350	12,750	600				13,350	
トータルコスト	24,477千円（前年度 22,887千円）[正職員：1.4人]							
主な業務内容	チャーター便誘致に係る航空会社との連絡・調整等							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、県内空港利用によるチャーター便を活用したツアーやチャーター機着陸料等の支援など、東アジア地域等からの国際チャーター便の誘致活動に取り組む。

2. 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容			
「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	7,500	区 分	インバウンドチャーター	アウトバウンドチャーター	
		対 象	航空会社	旅行会社	
		支援条件	・東アジア地域等から県内空港へのインバウンドチャーター ・県内宿泊施設で1泊以上宿泊	県内空港発着のアウトバウンドチャーター便を利用したツアー	
		支援内容	着陸料等 3/4 支援	ツアー客1名につき 5,000円	
		限度額	1 離着陸当たり 20万円	1 機当たり 100万円	1 機当たり ・座席数 200 席未満 50万円 ・座席数 200 席以上 100万円
		＜連続チャーターへの追加支援＞		・支援条件：1か月3離着陸以上運航 ・支援内容：空港ビル使用料 10/10 支援 ・限度額：1離着陸 14万円、1か月 100万円	
		支援方法	観光誘客促進団体等を通じて支援	空港利用促進懇話会を通じて支援	
計		7,500千円		※国内航空便利用促進事業	
プログラムチャーター便促進支援事業	3,000	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を造成する旅行会社と協働して、本県の魅力を国外にPRする。 ＜支援目安：上限 1,500千円/社×2社（航空会社・旅行会社）＞			
チャーター便誘致に向けた取組	50	・空港サポート通訳業務 50千円			
	1,000	・アウトバウンド広告支援 日本人向けツアー造成（広告費）に対する経費支援			
	1,600	・ビジネスマッチング支援 チャーター便を利用し相手国で商談会を行う際の会場代等の経費支援			
	200	・新規チャーター便協議に係るアドバイザーの招聘 新規チャーター便誘致の交渉等にあたり、旅行社等をアドバイザーとして招聘			
計	13,350				

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的なエアポートセールスにより、香港からのチャーター便の就航が定期便化に繋がった。引き続き、各方面からのチャーター便を誘致し、海外インバウンドの促進に努める。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 3目 交通対策費

観光戦略課(内線:7221)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子空港国際定期 航路利用促進対策費	81,203	81,203	0				81,203	
トータルコスト	95,509千円(前年度95,239千円) [正職員:1.8人]							
主な業務内容	エアソウル・韓国観光公社等関係機関との連絡・調整ほか							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰初の国際定期航空路線である米子-ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するエアソウルに対して米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援するとともに、山陰両県の官民で組織する国際定期便利用促進協議会の一員として同便の利用を促進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) エアソウルに対する 支援	71,203	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料(3/4) ・空港ビル施設使用料(10/10) ※ () 内は補助率
(2) 国際定期便利用促進 協議会負担金	10,000	○国際定期航路利用促進事業(日本から韓国への利用促進対策) ・団体旅行支援 ・パスポート取得支援 ・修学旅行貸切バス支援 ・商品造成支援 ・情報発信、広報 ※全体事業費30,000(内訳:鳥取県10,000、市町村等20,000)
合 計	81,203	

[参考] 米子ソウル便利用実績(平成28年1月~平成28年12月)

提供座席数	搭乗座席数	搭乗座席数の内訳			搭乗率
		日本人	韓国人	その他	
(50,944席)	(35,630席)	(6,440席)	(28,636席)	(554席)	(69.9%)
54,454席	34,825席	8,687席	25,383席	755席	64.0%

※ () は前年実績

なお、平成29年1月実績は、平成13年4月の米子ソウル便就航以降の月間搭乗者数の過去最多となる4,218名を記録。搭乗率も1月としては過去最高となる77.3%を記録した。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

地域振興部交通政策課（内線：7099）

→事業実施：観光交流局観光戦略課

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便利用促進事業	61,053	62,866	△1,813	1,660			59,393	
トータルコスト	71,385千円（前年度 73,003千円）[正職員：1.3人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	東京便の増便、航空便の運賃低廉化、国内航空便の利用促進 (便数：鳥取－東京便5便、米子－東京便6便)							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

県内両空港を発着する航空路線の維持・拡充と利便性向上を目的に両空港の利用促進懇話会等と連携し、首都圏でのPR活動や旅行商品造成の働きかけを行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内 容
①県内両空港の利用促進懇話会を通じた取組	30,595	両懇話会が取り組む航空便の利用促進事業に要する経費の一部を負担する。(路線PRイベント、ノベルティ作成、県内空港利用の旅行商品造成、販促経費の一部支援等)
②航空便利活用支援	12,000	県の重点施策分野と連携した航空便利用支援を行う。 (移住定住を目的とした来県、地元ではできない経験のため航空便を利用する子供、障がい者、介護利用等への運賃支援)
③空港賑わい創出、路線情報発信	10,400	空港や路線の認知度向上による誘客に繋げるため、県内両空港の愛称にちなんだ装飾を行うなど、空港内の賑わい創出及び魅力発信を行う。
④航空路線調査分析、航空便利用実態調査	6,240	県内航空路線の利用動向分析、国内及び国際航空業界の動向分析、航空便利用者アンケート調査等により路線誘致戦略、効果的な利用促進策等の取組に資する。
⑤全国地域航空システム推進協議会負担金	129	地域航空システムの調査研究等を行う協議会への負担金
⑥検査機器保守管理等	562	県で保有する検査機器の保守点検等の委託
⑦事務費	1,127	
合計	61,053	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・県内空港を発着する航空路線の利便性向上、路線拡充に向け、利用促進策の充実と国、航空会社に対する継続的な要望活動を行うとともに新規路線誘致を働きかけている。
- ・平成29年度も引き続き、航空会社と一層連携を密にしつつ、利用者ニーズを踏まえた効果的な利用促進に取り組む。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

地域振興部交通政策課（内線：7099）
→事業実施：観光交流局観光戦略課
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新たな航空旅客創出事業	73,550	40,300	33,250	14,250			59,300	
トータルコスト	79,114千円（前年度 40,300千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	国内航空便の誘致、利用促進							
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内両空港を発着する航空路線の維持拡充や新規国内路線の誘致に向けて新たな旅客の開拓を図るとともに、空港の情報発信機能の強化や二次交通の整備等による利便性向上を図り、国内航空便の利用拡大につなげる。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p>								
区分	予算額	内容						
①鳥取空港における旅客層の新規開拓	3,500	<p>(1) 搭乗率の低い東京発1便の利用促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京発1便の搭乗者へのレンタカー助成加算（通常3,000円→5,000円に拡大）※予算は④航空便利用者の利便性向上事業に計上 鳥取ならではの朝食をワンコイン（500円）で提供 ※予算は④航空便利用者の利便性向上事業に計上 東京発1便の搭乗者への県産品プレゼントキャンペーン（抽選で毎日1名） <p>(2) 但馬圏域への利用拡大に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> キッズエアサポート支援事業の対象範囲の拡充 但馬地域の小児運賃最大1万円割引（県内小児運賃は全額無料） 但馬地域と連携した首都圏での利用促進PR 						
②全日空と連携した新たな需要開拓	(37,800) 37,800	<p>(1) 全日空との共同キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鳥取多美」をコンセプトに「癒し」、「食」、「アクティビティ」などのテーマごとに鳥取ならではのモニターツアーや旅行商品の造成支援、情報発信 <p>(2) 羽田乗り継ぎによる海外からのインバウンド誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ANA中国統括室と連携した商品造成や機内誌（年2回程度）でのPR等 						
③国内路線新規開拓PR	(2,500) 2,500	新規路線開拓に向けた国内チャーター便の就航支援や航空会社と連携した取組を実施（機内誌でのPR等）						
④航空便利用者の利便性向上事業（「空の駅」関連事業）	28,500	<p>(1) 出店トライアル・イベント支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取空港内でのトライアル出店やイベント開催に対する補助 <p>(2) 空港案内機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取空港に観光・二次交通案内等を行うスタッフ配置（土日祝、夏休み等2名配置） <p>(3) 空港レンタカー助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内両空港の航空便利用者に対するレンタカー割引の実施（基本3,000円、外国人最大10,000円） <p>(4) 鳥取ならではの朝食をワンコイン（500円）で提供 ※再掲</p> <p>(5) 空港周遊バス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取港、鳥取砂丘を結ぶ周遊バスの運行支援（土日祝、3往復） <p>(6) 空港連絡バスラッピング掲出料等</p> <p>※上記(1)～(6)の内容はH28.2臨時会で予算措置して実施中（地方創生加速化交付金充当事業）</p>						
⑤事務費	1,250							
合計	73,550							

3 これまでの取組状況、改善点

県内空港航空便の利用促進を図るため、地元官民が一体となって、空港機能の強化や二次交通対策等の取組を実施している。特に、平成29年度は、鳥取空港の国土交通省の羽田発着政策コンテスト枠による5便化が最終年度となるため、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など更なる利用促進の取組が必要である。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
3 目 交通対策費

地域振興部交通政策課 (内線: 7099)
→事業実施: 観光交流局観光戦略課

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便利用促進事業	83,910	73,640	10,270	1,820			82,090	

トータルコスト 91,858千円 (前年度 73,640千円) [正職員: 1.0人]

主な業務内容 香港航空への運航支援、香港・マカオ地域等との交流創出支援

工程表の政策目標(指標) 国際航空便の誘致、利用促進

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

平成28年9月に就航を開始した米子香港便について、利用者が定着するまでの間の安定的運航を図るため、同路線の運航経費に係る支援を行うとともに、香港・マカオ地域等との教育、スポーツ等の交流、往来の創出につながる取組を支援するほか、航空会社と連携した利用促進キャンペーンや二次交通対策等を併せて実施し、その後の増便へつなげていく。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内 容
①米子香港便交流創出支援	2,400	教育、スポーツ、文化、ビジネス等の分野で、香港便を利用した香港、マカオ地域等との交流、往来の創出につながる取組を支援する。 (想定: 12団体) ・補助率: 10,000円/人 (定額)
②米子発香港乗継利用促進	900	4泊5日以上での米子発香港乗継を利用した航空路線の利用促進を図るため、同乗継の利用増に繋がる取組を実施する企業、団体に対して支援する。(想定: 5団体) ・対象団体: 県内に営業所等のある旅行社等 ・補助率: 利用実績に応じた定額補助 (1人1往復当たり6,000円)
③香港・マカオへの教育・修学旅行支援	1,920	香港便を利用した香港・マカオへの教育・修学旅行に参加する県内高校、中学の生徒に対して支援する。(想定: 私立中高2校) ・補助率: 10,000円/人 (定額)
④香港航空への運航支援	(70,000) 70,000	新規就航当初の安定運航を図るため、航空会社が負担する以下の経費を支援する。 ・着陸料・ハンドリング経費の1/2、保安料・航行援助施設使用料の3/4、空港ビル施設使用料・ハイジャック検査業務の10/10 ※ただし、70,000千円を上限として支援する。
⑤香港便就航一周年記念式典開催等	3,800	就航一周年を迎える平成29年9月に記念式典を開催するほか、搭乗キャンペーンなどを実施し、香港便の盛り上げと更なる利用拡大を図る。
⑥国際定期便の利用者支援	(3,640) 3,640	国際定期便利用者に対して、米子駅～空港間の連絡バス往復料金をワンコイン (500円) で提供するほか、アウトバウンド利用者に対して、片道1,000円以上 (普通車) の高速料金の1/2を助成する。
⑦事務費	1,250	
合計	83,910	

3 これまでの取組状況、改善点

香港を中心とした利用促進の取組等 (旅行雑誌等を通じたPR、旅行会社と連携した市民説明会など) により米子香港便が認知され始め、利用状況は上昇傾向にあるが、季節により変動も見られるため、更なる利用促進強化が必要である。

<利用状況>

就航月	9月 (5往復10便)	10月 (9往復18便)	11月 (9往復18便)	12月 (9往復18便)	1月 (8往復16便)
利用状況	53.4%	59.0%	70.9%	72.9%	53.7%

※1月は速報値

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

3目 金融対策費

観光戦略課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資金 融資制度	16,289	18,445	△2,156			(貸付金元利収入) 16,289		
トータルコスト	16,289千円 (前年度 18,445千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>観光振興を図るため、県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資する。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。</p> <p>・貸付金 16,289千円</p>								
融資対象		県内において、観光・レクリエーション施設及び旅館業の用に供する施設の整備を行う者						
融資条件等	限度額	2億円						
	利率	2.14～2.48%						
	期間	15年以内						
事業終了年度		平成31年度予定						
<p>※平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金(商工労働部企業支援課)」に移行しており、本事業分は平成17年度までに承認した既融資分(4社)に係る経費である。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課（内線：7421）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）観光客の心に響く滞在型地域創造事業	16,000	0	16,000	8,000			8,000	

トータルコスト 19,179千円（前年度 0千円）〔正職員：0.4人〕

主な業務内容 補助金交付事務、関係団体との調整

工程表の政策目標（指標） 旅行会社等と連携しながら全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

観光客がゆったりと滞在したくなるような魅力ある観光地づくりを進めるために、鳥取県らしさを堪能する特色ある宿泊体験（民泊、古民家活用）を中心に地域資源を活用したコンテンツ（観光素材）づくりやこれら結び付けた「魅力ある滞在エリアの創造」に一体的に取り組む。

2 主な事業内容

（1）魅力ある滞在エリア創造支援事業（11,000千円）

区分	内容
補助対象事業者	「宿泊事業者」…民泊等を活用し地域の観光素材と組み合わせた特色ある宿泊施設を新規に開業する者、及び既に開業している者 「宿泊事業者等団体」…2者以上の宿泊事業者で組織する団体
補助対象経費	ア 「宿泊事業者」向け支援メニュー （ア）新規に民泊等による宿泊施設を開業する際の許認可申請等に要する経費 （イ）民泊等による宿泊施設において提供する特色ある商品（飲食物・加工品・土産物等）、サービス（体験メニュー）の開発に要する経費 （ウ）開業及び利用客拡大に伴う宣伝費 イ 「宿泊事業者等団体」向け支援メニュー 受入れ家庭確保のための掘り起こし活動、研修会開催経費、アドバイザー委託、先進地視察等に要する経費 ウ 宿泊施設等の整備に要する経費 ※宿泊事業者・宿泊事業者等団体ともに補助対象
補助率	上記ア及びイ 対象経費の3分の2 上記ウ 県3分の1（市町村6分の1）
補助金上限額	上記ア 500千円 上記イ 2,000千円 上記ウ 3,000千円

（2）地域観光素材の発掘・創造事業（5,000千円）

市町村や地域での地域資源を磨き上げる方法や事例などを伝える研修会の開催及び県内において特色ある宿泊体験を実施する先進事例等PRパンフレットの作成

3 これまでの取組状況、改善点

旅行者のニーズが、見学型から体験型に変化する中で、国内外を問わず農山漁村地域において日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しむ滞在に対する需要が増えてきている。特に温かなもてなしが魅力の民泊や日本の原風景を思い起こさせる古民家を活用した宿泊施設などはインバウンド客を中心にニーズが高いことから、本県ならではの旅の魅力を国内外からのお客様に感じてもらうことができる特徴のある宿泊スタイルづくり（民泊・古民家等の活用）を推進し、地域の観光素材の磨き上げを行う。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
山陰インバウンド機構運営事業	77,000	12,500	64,500				77,000	
トータルコスト	96,075千円（前年度 31,215千円）〔正職員：2.4人〕							
主な業務内容	山陰インバウンド機構を核としたインバウンド観光振興（ブランドづくり、PR等）							
工程表の政策目標（指標）	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

- ・「観光地マネジメント」の視点に立った地域の磨き上げと、増加する外国人観光客の誘致を促進するため、「山陰」を対象エリアとした観光地域づくり組織「山陰インバウンド機構」（San-in Tourism Organization）を運営するための経費を負担する。
 ※同機構の事業費については、鳥取県、島根県が同額を負担するほか、国の「広域観光周遊ルート形成推進事業」による支援が見込まれる。
- ・同機構は、山陰における外国人受入体制の強化と山陰一体となった海外プロモーションの展開等により、広域観光周遊ルート「緑の道～山陰～Route Romantique San'in」のPR、「山陰ブランド」の確立を目指す。また、県内各圏域の観光地づくりや旅行の斡旋などきめ細かな対応を行う圏域DMOや観光協会等と連携することで、山陰全体の観光地マネジメントを行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

（ ）内は前年度額※H27.2月経済対策分を含む

区分	内 容	総事業費	うち鳥取県・島根県負担額		うち国直接負担見込
			鳥取県	島根県	
山陰の認知度向上対策	山陰の認知度向上を効率的に実施するため、対象市場別のマーケティング実施、動画、WEB等を活用したPR及びニーズ把握を実施	34,500 (8,000)	10,000 (8,000)		24,500 (0)
主要市場での営業	「緑の道～山陰～Route Romantique San'in」をPRするため、国費等を活用し市場別営業戦略に基づき強力な情報発信を実施	156,210 (117,800)	55,210 (92,800)		101,000 (25,000)
インバウンド事業創出	・クルーズ客の消費拡大を目指した周遊促進事業の実施 ・農山漁村民泊、体験メニューによる山陰の魅力発信、誘客促進 ・ビジネス人材・地域限定通訳案内士の育成、観光ビジネス立上支援	14,400 (0)	9,700 (0)		4,700 (0)
観光客ストレスオフ事業	・外国人観光客のストレスオフ対策（2次交通、買物環境等）実施	13,000 (3,700)	4,000 (3,700)		9,000 (0)
国内事業	山陰両県共同での観光情報説明会、両県を旅するプランの造成支援、両県ジオパークを連携させたPR等実施	19,500 (17,500)	14,750 (17,500)		4,750 (0)
管理費	山陰インバウンド機構の代表理事及び契約社員の人件費、事務所借上代、機構の運営に係る事務費、活動経費等	59,550 (47,000)	59,550 (47,000)		0 (0)
計		297,950 (194,000)	154,000 うち鳥取 77,000 (169,000)		142,950 (25,000)

※国負担額については現在申請中であり、今後変動する可能性がある。

3 これまでの取組状況、改善点

平成28年の年間訪日外国人観光客数は2,404万人、対前年22%増と順調な伸びを見せており、国も「訪日外国人4,000万人」に向け強力に事業を推進しているが、平成27年の山陰両県の外国人宿泊客数は、両県で約14万人と国全体の約0.2%であり、外国人観光客による消費拡大、雇用の創出に向けて一層のインバウンド推進が必要である。

山陰インバウンド機構が平成28年度に申請した「緑の道～山陰～Route Romantique San'in」が国の広域観光周遊ルートに認定されたことにより、平成29年度以降は国費を活用して山陰への外国人誘客事業に取り組む。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県内観光推進組織連携事業	1,000	1,850	△850				1,000	
トータルコスト	1,795千円（前年度 5,749千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	事業の企画、関係組織との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	DMOを核とした連携により、観光地域づくりと外国人誘客促進を目指す。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 平成28年4月に設立した山陰インバウンド機構と県内各圏域DMOが連携し、効率的かつ確実に地域の魅力を提供する仕組みづくりを確立するため、県内各圏域DMOの機能向上を目指す。</p> <p>2 主な事業内容 県内DMO専門家派遣事業 1,000千円 地域づくりの有識者、または先進的DMOの経営者等を招いた実地指導を実施し、DMO運営に対する知識やノウハウの蓄積のほか、山陰インバウンド機構が保有するマーケティングデータの活用等、DMOとしての機能向上を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 国内外の観光客の獲得と、持続可能な地域経済の発展に向けて、地域全体の観光マネジメントを行う組織（DMO（観光地域づくり法人））の整備と機能向上が求められている。 平成28年度は鳥取県中部のDMO「鳥取中部観光推進機構」を対象に専門家を招致し、同機構は、専門家の指導・助言を来期以降の事業計画策定に生かした。 今後立ち上げられる見込みの圏域DMOにおいても本事業により山陰インバウンド機構との連携強化及び組織の機能向上を支援する。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課(内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
高齢者、障がい者等に優しい旅づくり推進事業	7,014	4,930	2,084				7,014	
トータルコスト	8,604千円(前年度 6,490千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	関係先との連絡調整、契約事務							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

高齢者、障がい者等に優しい旅づくりを推進するため、魅力的なバリアフリー観光ルートを充実させ、バリアフリーツアーに関する情報の発信を行うとともに、高齢者や障がい者だけでなく誰もが宿泊したくなるような魅力的な「宿」の整備を目指し、バリアフリー化によるビジネスチャンス創出に係るアドバイズ事業を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
魅力的なツアーコースの造成・販売事業	3,040	県内のバリアフリー環境整備状況(発着地、観光素材、宿泊施設、飲食施設等)及び旅行商品になり得る行程について調査し、障がい者・高齢者が安心して巡ることができるようにモデルコースとして発信。あわせて、県外旅行会社によるモニターツアーを実施する。
魅力的な「バリアフリーの宿」創出アドバイザ事業	2,574	ホテル・旅館等のバリアフリー状況を調査し、当該施設にバリアフリー化整備に取り組むためのメリットやビジネス展望、具体的なバリアフリー対応策を提示するアドバイズ事業を行う。
ユニバーサル観光地「とっとり」の発信事業	1,400	バリアフリーモデルコース及び県内の観光施設等のバリアフリー情報等を網羅した情報誌の作成、ウェブ発信等を行う。
計	7,014	

3 これまでの取組状況、改善点

観光資源やバリアフリー環境整備状況等を考慮し、旅行会社、障がい者、高齢者団体等の意見を踏まえたモデルコースの設定に向けて取り組んでいるところ。高齢者や障がいのある方も楽しく観光いただけるコース設定や情報発信に努める等、引き続き、おもてなし態勢の整備に取り組んでいく。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産 「三徳山」調査活用推 進事業	4,021	3,225	796				4,021	
トータルコスト	7,995千円（前年度 7,124千円）〔正職員：0.5人〕							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金交付業務等							
工程表の政策目標（指標）	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域（関西、中四国等）を周遊する観光客の増加を目指す。							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 鳥取県を代表し、大山・隠岐国立公園へ編入がなされた文化財である三徳山は、平成27年4月に日本遺産に認定された。今後は、世界遺産登録も視野に入れつつ、地元関係者と連携し、調査研究を進めるとともに、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。 ※日本遺産：地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する仕組み。文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るもの。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各分会の開催 三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各分会（調査研究分会、情報発信分会、保存管理活用分会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進する。</p> <p>(2) 情報発信・機運醸成（情報発信分会—事務局：鳥取県中部総合事務所地域振興局） ・展示会等開催 ・文化資産学習会開催支援事業 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会 補助対象者：公民館、住民団体等 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定</p> <p>(3) 調査研究（調査研究分会—事務局：鳥取県教育委員会文化財課） ・三徳山の総括的研究 ・鳥取県中部における中世寺院に関する研究 ・三朝町実施の調査事業の支援 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査</p> <p>(4) 保存管理活用（保存管理活用分会—事務局：三朝町教育委員会） ・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招へい等）</p> <p>（参考）三徳山世界遺産登録運動推進協議会 設立：平成16年3月 会長：三朝町長 構成：中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等 役割：世界遺産登録を総合的な視点から協議 三徳山の保存管理活用に向けた行動計画の策定</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光振興費	49,942	46,503	3,434	2,825		(手数料) 159 (雑入) 12	46,946	
トータルコスト	69,017千円（前年度 65,218千円）〔正職員：2.4人、非常勤職員2.0人〕							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、より一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会	164	おもてなし研修会等の開催に係る経費
観光客入込動態調査の実施	2,733	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出
砂丘西側用地の管理	5,962	松くい虫被害木の伐採等の管理
観光案内看板の管理	1,000	観光案内看板の整備、情報更新
フィルムコミッション業務補助	4,867	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を行う鳥取県観光連盟への補助
トリピー商標更新業務委託	1,100	トリピーの商標更新業務委託経費
事務費	31,954	観光戦略課所掌事務に係る連絡調整に係る経費等
計	49,942	

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
コンベンション誘致促進事業	47,025	54,252	△7,227				47,025										
トータルコスト	47,820千円 (前年度 55,032千円) [正職員: 0.1人]																
主な業務内容	(公財)とっとりコンベンションビューローへの指導。調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整																
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内産業の振興、地域活性化、国際的相互理解の増進及び文化の向上を図るため、県内全域を対象にしたコンベンションの誘致を促進する(公財)とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。</p>																	
<p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費交付金</td> <td style="text-align: center;">27,400</td> <td>(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2)</td> </tr> <tr> <td>コンベンション開催助成費補助金</td> <td style="text-align: center;">19,625</td> <td>コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2)</td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	内容	運営費交付金	27,400	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2)	コンベンション開催助成費補助金	19,625	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2)
区分	予算額	内容															
運営費交付金	27,400	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2)															
コンベンション開催助成費補助金	19,625	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2)															
<p>3 これまでの取組内容、改善点</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控え、スポーツに対する意識が高まる中、一層のスポーツ大会等の誘致を進めていくほか、ビジネス客の取り込みにつながるインバウンド客の誘致活動を積極的に進める。</p>																	

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線 : 7 4 2 1)
 (単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	94,578	94,290	288				94,578	
トータルコスト	96,168千円 (前年度 95,850千円) [正職員 : 0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 観光客誘致に関する取組を強化し積極的な誘客を図るため、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行う(公社)鳥取県観光連盟の運営費を負担する。</p>								
<p>2 主な事業内容 ・運営費負担金 94,578千円</p>								
区 分	内 容							
人件費	県10/10 (組織体制) 専務理事(県派遣)、事務局長、課長(2名うち1名県派遣) 観光プロモーター(3名)、書記(6名うち3名が正職員)							
事業費	県1/2 (1) 地域受け地づくり対策推進事業 ・着地型旅行商品販促、体験型商品企画支援 ・広域観光機能強化事業 など (2) 観光客誘致対策強化事業 ・旅行エージェント招致、観光情報説明会開催 ・観光プロモーター活動事業 など (3) 観光誘客キャンペーン事業 ・交通事業者との観光キャンペーン ・観光親善大使による誘客活動 (4) 情報発信・宣伝事業 ・各種観光パンフレット制作、ホームページ ・旅行エージェント向け観光素材集制作 (5) 会員等との誘客連携事業							
<p>3 これまでの取組内容、改善点 平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行等、観光情報発信業務を移管した。 平成26年度より組織体制強化のため、書記の正職員化を進め、現在3名の正職員を有している。平成29年度以降も観光魅力づくり・誘客促進を図っていく。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「日本の旬 瀬戸内・山陰」キャンペーン事業	3,000	0	3,000				3,000	
トータルコスト	3,795千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	負担金の交付事務、観光素材の提供							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

大手旅行会社JTBグループによる誘客キャンペーン「日本の旬 瀬戸内・山陰」(平成30年4月～9月)の取組に対して支援を行う。

2 主な事業内容

- (1) 開催期間 平成30年4月1日～9月30日の6か月間
- (2) 開催地域 中国5県(鳥取県・島根県・広島県・岡山県・山口県)
- (3) 事業内容 以下の取組に対して支援を行う。

- ・セットクーポン開発等による周遊観光の提案推進及び山陰・山陽を結んだルート提案によるドライブ旅行の推進
- ・観光・体験プラン紹介サイト「ここから瀬戸内」(JTB運営)との連携による中国5県の着地型コンテンツの商品開発
- ・滞在型観光を意識した体験素材の発掘と商品化の推進
- ・観光需要とビジネス需要、インバウンド需要をバランス良く取り込むためのマーケットに応じた商品づくりと宿泊在庫の効率運用
- ・温泉地をはじめ各エリアにおけるMICE誘致の強化による宿泊需要の発掘等

※MICE (マイス)

多くの集客が見込まれる経済効果の大きいビジネス関連イベント。また、それを開催するための大型施設。meeting(企業などの会議・セミナー)、incentive tour(報奨旅行)、conventionまたはconference(学会・国際会議)、exhibitionまたはevent(展示会・イベント)の頭文字による造語

3 これまでの取組状況、改善点

前回のキャンペーンは、平成24年4月1日から9月30日にわたって「地恵の回廊」をテーマに中国5県で実施した。

- ・県負担額: 5,000千円
- ・送客実績: 中国5県全体で約64万人(対前年比105.2%)
- ・取組概要: 個人旅行商品「エースJTB」宿泊対象者専用シャトルバス「皆生・境港号」、「山陰周遊だんだん号」の運行、現地ガイドが倉吉の開運スポットを案内する「倉吉まち巡り」、地元のおさかなガイドが同行して水揚げを見学する「境港見学ツアー」、砂丘のらくだに乗って記念撮影する「らくだに乗って写真撮影」の実施等

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「とっとり年は鳥取へキャンペーン」(観光団体向け観光需要回復支援事業)	10,000	0	10,000				10,000	
トータルコスト	10,795千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、関係団体との調整							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内旅館組合等が鳥取県中部地震で落ち込んだ観光需要の回復のために取り組む事業に対して支援する。

2 事業内容

区分	内容
補助対象事業者	県内温泉旅館組合、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会、(一社)鳥取県中部観光推進機構、大山山麓観光推進協議会、日野郡広域交流促進協議会、鳥取県観光施設連絡協議会等
補助対象経費	(1) 情報発信経費 メディアキャラバンや旅行会社に対する商品造成働きかけに要する旅費等及びメディアや旅行会社の招聘経費に要する旅費等 (2) 誘客イベント経費 県内外で行うイベント実施に要する経費(職員人件費は除く。) (3) 旅行者満足度向上のための取組に要する経費 訪れた旅行者の満足度を高めるための鳥取ならではの取組 (例: 伝統芸能の招聘経費など。土産品等のモノの支給に要する経費は不可)
補助対象期間	平成29年4月1日から12月31日まで
補助金上限額	1,500千円以内(広域的な取組については3,000千円以内)
	補助率 対象経費の4分の3

3 観光需要回復のための取組

平成28年度内は風評被害対策をスローガンに掲げ、「とっとりで待っとります」国内向け旅行商品造成支援事業及び復興応援バス事業(宿泊6万円/台・日帰り3万円/台)の旅行会社向け支援策のほか、蟹取県ウェルカニキャンペーンを全国展開。

平成29年度は、「とっとり年は鳥取へキャンペーン」を統一的なスローガンに掲げ、本事業を含め以下の事業を一体的に展開することで、幅広いキャンペーン展開を図り、酉年における県内観光需要の回復を図る。

【とっとり年は鳥取へキャンペーン事業一覧】 予算規模(29年度当初予算額): 165,172千円
① 観光団体向け観光需要回復支援事業(本事業) [29年度当初予算額] 10,000千円 ⇒ 観光団体が主体となって行う誘客の取組を支援
② 「ぐるっと山陰」誘客促進事業 [29年度当初予算額] 43,000千円 ⇒ 旅行会社向け団体バス代支援を継続(宿泊4万円/台・日帰り2万円/台)
③ 宿泊促進WEB対策事業及び国内航空便利用対策促進事業 [29年度当初予算額] 62,500千円 ⇒ WEB予約事業者と連携した個人旅行者向け誘客促進
④ 観光情報提供事業 [29年度当初予算額] 49,672千円 ⇒ メディア向け情報発信

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとり年は鳥取へキャンペーン」観光情報提供事業	49,672	50,077	△405				49,672	
トータルコスト	61,594千円（前年度61,774千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の魅力を県外へ情報発信する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、イベント参加	43,420	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など
マスコミの取材受け入れ	1,425	マスコミ関係者の取材招へい
マスコミへのプレゼント供与	700	視聴者・読者プレゼント
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	245	とっとり観光親善大使の派遣費用
事務費	3,882	
合 計	49,672	

※平成28年11月補正予算において債務負担行為設定済み
（テレビ番組を活用した観光情報発信業務 10,000千円）

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとり年は鳥取へキャンペーン」（「ぐるっと山陰」誘客促進事業）	43,000	35,000	8,000				43,000	
トータルコスト	45,384千円（前年度 37,339千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県中部地震での風評被害による観光入込客の減少対策として、現在行っているバス旅行商品へのバス代支援を途切れること無く継続的に行うとともに、旅行商品造成支援及び観光パスポート「トリパス」の作成に対する支援を行う。

2 主な事業内容

(1) バス旅行商品支援

鳥取県観光連盟のプロモーター（県外本部駐在）を活用し、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけを行う。

区分	内容
交付対象者	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	旅行会社が支援条件を満たすバスツアーを催行した場合の経費支援 【支援内容】宿 泊：バス1台あたり40,000円 日帰り：バス1台あたり20,000円 【支援条件】 ・県内宿泊施設での平日宿泊又は周遊 ・1バス20名以上 ・県内の観光地を2箇所以上訪問 ・観光連盟指定の食事箇所又は県内旅館等で1回以上の食事利用
補助率、限度額	10/10 30,000千円（定額）

※平成28年11月補正予算において一部債務負担行為設定済

(2) 旅行商品造成支援

鳥取県観光連盟のプロモーターを活用し、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行う。

交付対象者	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	旅行会社が支援条件を満たす旅行商品を造成した場合の経費支援（旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定）
補助率、限度額	10/10 10,000千円（定額）

※平成28年11月補正予算において債務負担行為設定済

(3) 観光パスポート「トリパス」作成支援

個人旅行者に対して訴求力の高い「トリパス」を県外で積極的に配布できる環境を整えることで、震災で落ち込んだ個人旅行の需要喚起をする。

交付対象者	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	観光パスポート「トリパス」の印刷経費
補助率、限度額	10/10 3,000千円（定額）

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県中部地震の影響や風評被害による宿泊キャンセルが発生したが、主要都市でのPRイベントやトリパスを使った震災復興企画などの情報発信により新たなキャンセルの発生は落ち着きを見せている。

H28年度は、「とっとりで待っとります旅行商品造成支援」や「中部地震復興応援バス商品支援」の実施により旅行商品の造成が一時的に増えることが考えられるが、H29年度も引き続き旅行商品造成・観光周遊、個人旅行需要の取り込みなどを促すことで、失われた観光客を取り戻し、発災前以上の確かな観光需要に繋げていくことが必要となる。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
「とっとり年は鳥取へキャンペーン」(宿泊促進WEB対策事業)	22,500	25,000	△2,500				22,500							
トータルコスト	24,884千円（前年度27,339千円）〔正職員：0.3人〕													
主な業務内容	補助金対象者との連絡調整、補助金交付業務													
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要 県内観光需要の回復を目指すため、「とっとり年は鳥取へキャンペーン」を他事業の誘客事業と一体的に実施することとし、個人旅行者向けの対策として、民間団体が実施する大手宿泊予約サイトを活用した「山陰大周遊キャンペーン」の取組を支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 事業内容 鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合が行う宿泊予約サイトを活用した情報発信及び誘客対策を支援する。 【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">補助対象者</td> <td>鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補助対象経費</td> <td>個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">補助率</td> <td>10/10（上限22,500千円）</td> </tr> </table> <p>※平成28年11月補正予算において一部予算の債務負担行為設定済み</p> <p>(2) 事業期間：平成29年3月下旬から平成30年3月まで</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、鳥取県中部地震によって減少した観光需要の回復・増加を図るため、「とっとり年は鳥取へキャンペーン」として、他事業の誘客事業と一体的に実施することとする。 ・その一環として、大手宿泊予約サイトを活用した誘客キャンペーンを実施し、誘客につなげる。 <p>* 宿泊予約サイト 目的地の旅館、ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイト（楽天トラベル、じゃらんnet、るるぶトラベルなど）</p>									補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費	補助率	10/10（上限22,500千円）
補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合													
補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費													
補助率	10/10（上限22,500千円）													

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	13,322	12,500	822				13,322	
トータルコスト	21,270千円（前年度 20,298千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国内外からの観光誘客のため、本県の重要な観光素材である「温泉」の魅力向上を図る。

2 主な事業内容

(1) 温泉地魅力向上事業（7,310千円）

温泉地の魅力向上のため、温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
いなば温泉郷支援事業 〔総事業費 3,930〕	1,310	入湯周遊チケット作成、宿泊プラン造成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等
皆生温泉支援事業 〔総事業費 18,000〕	6,000	各種イベントでのPR、インバウンド対策（外国語サインの作成）、ツアーの実施やクーポンの発行等

※負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3

(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金（6,012千円）

県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う、温泉地の総合計画に沿った施設整備に対する経費を支援する。

区 分	内 容
補助対象者	温泉旅館組合、地元住民、観光事業者で組織する実行委員会など
補助対象事業者	市町村
補助対象事業	吉岡温泉 平成29年度 グランドデザインに沿ったハード整備 (ペットの湯及び一乃湯市場)
補助率	市町村が補助する経費の1/2以内 (施設整備費のうち民間が所有するものにあつては、間接補助対象経費の1/3以内)

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 温泉地魅力向上事業

チケットクーポンの作成やWEBを活用した情報発信等に取り組んでいる。今後、旅行ニーズの多様化・旅行形態の変化に応じた事業を実施する。

(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金

吉岡温泉グランドデザイン制作委員会（みらい吉岡）が、平成28年度にグランドデザインを策定。平成29年度の吉岡温泉館建て替えの際に、ペットの湯（ペット専用露天風呂）及び一乃湯市場（地域住民主体の朝市）を整備し、ペット同伴旅行者の誘致と交流人口の増大によるにぎわいのある吉岡温泉を目指す。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課(内線: 7 2 3 7)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	10,050	9,420	630				10,050	
トータルコスト	16,408千円(前年度 15,658千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携協力して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
因幡・但馬・丹後観光協議会事業	500	県東部と兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町・民間が連携して、広報宣伝等の観光誘客事業を行う。 総事業費2,000千円(本県負担: 500千円)
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が団体で貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の改訂、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円(本県負担: 2,000千円)
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,600	首都圏を始めとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,150千円(本県負担: 900千円)
NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施	450	NEXCO西日本と西日本の各府県が共同で実施するカードラリー「お国じまんカードラリー」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。
計	10,050	

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7 2 3 7)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「蟹取県へウェルカニ」誘客促進事業	33,400	32,780	620				33,400	
トータルコスト	41,348千円 (前年度 40,578千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	キャンペーン企画、業務委託事務、広報業務							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

カニシーズンの到来に合わせ「鳥取県＝カニ」を情報発信の切り口とした誘客キャンペーンを展開し、首都圏をはじめとする都市圏メディアでの露出を図ることで本県への誘客につなげる。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の実施	8,300	キャンペーン期間中(平成29年9月1日～30年2月28日)、県内の宿泊施設に宿泊した方を対象に、抽選で毎月100名様に「鳥取県のカニ」をプレゼントする。
メディアでの情報発信	2,400	首都圏・関西圏の大手メディア発信による全国規模での露出(本県の知名度向上)を誘客促進につなげる。 (テレビ番組誘致、プレスリリース配信など)
WEBでの情報発信	5,500	フェイスブックやLINE、YouTubeなどSNSと連動した特設WEBサイトを構築し、キャンペーン情報を発信する。
キャンペーンパンフレット・ポスターの作成	7,400	キャンペーンパンフレット、ポスター等を作成し、キャンペーン情報を発信する。
首都圏メディア発表会の開催	9,800	首都圏においてキャンペーンのキックオフイベントを開催し、キャンペーンのPRを実施する。
合計	33,400	

- ※SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス(social networking service)の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。
- ※フェイスブック: 世界規模で利用されるSNSサイトのひとつ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ
- ※LINE(ライン): スマートフォン等の携帯端末から、個人間、グループ間でのメッセージ交換サービスや音声通話を利用できるサービス及び同名の無料アプリケーション(ソフトウェア)。SNSがオープンであるのに対し、友人などのグループ内でメッセージ交換など限定的な点がサービスの特徴である。
- ※YouTube: 無料で利用できる動画共有の代表的なサイト

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成26年度から「ウェルカニキャンペーン」を開始した。
- ・3年目を迎えた平成28年度は、娯楽劇調のインパクトあるビジュアルイメージでポスター・パンフレット等を作成したり、蟹をテーマとした動画のWEB公開などによりWEB・SNSから情報の拡散を図ることができた。
- ・キャンペーン期間中、「蟹取県」「ウェルカニ」をキーワードに、首都圏をはじめとする各メディアでの露出につなげることができた。
- ・今後も継続して「蟹取県」「ウェルカニ」を切り口とした取り組みを実施することで、都市圏でのイメージ定着を進め、本県への誘客促進に結びつける必要がある。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
着地型観光・体験情報発信事業	3,132	3,132	0				3,132	
トータルコスト	3,927千円（前年度 3,912千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付業務、関係先との調整等							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県内における体験型観光プログラムを集約し、観光情報とともに発信する「鳥取県ブランドページ」を日本最大級のレジャー体験予約サイト上に設置するとともに、当該ページへの導線を整えるなどして、近年増加傾向にある体験型観光を求める旅行者に対し、鳥取県の観光の魅力を強く訴求し誘客に繋げる。

2 主な事業内容

レジャー体験予約サイト上に設置している「鳥取県ブランドページ」の運営、情報の更新、アクセス分析及びアクセス分析に基づく効果的な改善策の検討（戦略会議）を行う事業に対し支援する。

事業主体：（公社）鳥取県観光連盟

事業費：3,132千円（補助金・定額）

<補助事業の内容>

区 分	内 容
掲載プログラム	着地メニュー、体験プログラム（自然体験、文化体験、歴史探訪ガイドツアーなど）
鳥取県ブランドページの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県ブランドページの保守管理及び更新 ・サイト内への誘導 ・体験プログラムは閲覧の上、予約申込みが可能 →閲覧者のダイレクトな誘客につながる
事業検証	戦略会議（年3回）を実施し、ページアクセスの分析をもとに、体験プログラムの品質向上、販促誘客につなげる

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県ブランドページは、平成27年度における閲覧回数約4,000万件、訪問者数約2,800万件にも達し、多くの方に対して、鳥取県の観光の魅力を体験型観光と一体的にPRすることができた。

また、サイトを通じての申込件数も大きく伸びており、高い経済効果が現れている。

- ・申込件数 2,267件（対平成26年度比 332%増）
- ・申込人数 6,127人（対平成26年度比 327%増）
- ・取扱高（売上） 約2,500万円（対平成26年度比 303%増）

引き続き、戦略会議を通じて県中西部の登録プログラム数や室内登録プログラム数を増やすことで幅広い層への浸透を図るとともに、プログラムのさらなる磨き上げを行うことで県内各地の着地型観光の推進に取り組んでいく。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

観光戦略課 (内線: 7638)

3 項 観光費

西部総合事務所地域振興局 (電話: 0859-31-9372)

1 目 観光費

西部総合事務所日野振興センター日野振興局 (電話: 0859-72-2080)

(総合事務所分は地方機関計上予算)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
とっとりスタイルエコ ツーリズム普及推進事業	22,136	22,783	△647	2,000			20,136																			
トータルコスト	38,827千円 (前年度34,481千円) [正職員: 2.1人]																									
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																									
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。																									
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】																						
<p>1 事業の目的・概要 多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県者に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>【Ⅰ 国内誘客の推進 16,739千円 (観光戦略課)】 地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社等と連携した情報発信、教育関係者へのプロモーション活動の強化を行う。</p> <p>(1) 教育旅行誘致 (鳥取県観光連盟委託) 7,739千円 ①教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 2,000千円 本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、誘引要素として宿泊費助成を設け、総合的な誘致促進を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>県外の小、中、高等学校</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>宿泊延べ人数×1千円 (上限300千円)</td> </tr> </table> <p>②旅行会社等への売り込み強化 5,739千円 県外の旅行会社等にとって、鳥取県はエコツーリズム・ニューツーリズムの受入先としてまだ認知度や信頼度が低いことから、視察旅行の開催などの積極的な売り込みを図る。 ・鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営費 観光関係団体等の受地体制整備、体験型教育旅行の誘致活動 ・教育旅行誘致コーディネーターの配置</p> <p>(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援 (スタートアップ型) 3,500千円</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2 (上限500千円)</td> </tr> </table> <p>(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援 (規模拡大型) 5,500千円</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2 (上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。)</td> </tr> </table> <p>【Ⅱ 滞在型観光「住まうように旅する」の推進 5,397千円 (西部総合事務所、日野振興センター)】 エコツーリズム推進体制の維持と併せて、啓発活動や圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体を支援し、「とっとりスタイルエコツーリズム」を定着させる。</p> <p>(1) エコツーリズム推進組織への活動支援 2,800千円</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td>事業主体</td> <td>大山山麓観光推進協議会</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>○情報発信: WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり: 圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発: 啓発セミナー開催等</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/2 (上限2,800千円)</td> </tr> </table>									補助対象者	県外の小、中、高等学校	補助額等	宿泊延べ人数×1千円 (上限300千円)	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2 (上限500千円)	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2 (上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。)	事業主体	大山山麓観光推進協議会	事業内容	○情報発信: WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり: 圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発: 啓発セミナー開催等	補助率等	1/2 (上限2,800千円)
補助対象者	県外の小、中、高等学校																									
補助額等	宿泊延べ人数×1千円 (上限300千円)																									
補助対象者	市町村、観光協会など																									
補助額等	1/2 (上限500千円)																									
補助対象者	市町村、観光協会など																									
補助額等	1/2 (上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。)																									
事業主体	大山山麓観光推進協議会																									
事業内容	○情報発信: WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり: 圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発: 啓発セミナー開催等																									
補助率等	1/2 (上限2,800千円)																									

(2) 山陰地域限定特例通訳案内士活用促進事業 750千円

山陰地域限定特例通訳案内士を活用し、外国人観光客を受け入れる企業の職員の案内能力向上を図るなど、国際リゾートとしての受入環境整備の取組を推進する。

事業主体・事業内容	大山圏域を訪れる外国人観光客受入のため、職員の多言語対応能力向上などの受入環境整備に取り組む企業等
補助率等	1/2 (上限なし)

(3) たたら資源等の活用体験事業 1,847千円

①地域の誇り「たたら」の磨き上げ事業 647千円

日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関するミニたたら操業体験会(50人程度、1回)、小中学生等を対象とした学習会(1回)を開催し、「たたら」の普及啓発を図るとともに、新たなたたら散策コースの調査を実施する。

②日野郡ニューツーリズム推進事業 1,200千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡特有の資源を活用したエコツーリズムメニューの造成やガイド育成、情報発信について助成する。
補助率等	1/2 (上限1,200千円)

3 これまでの取組状況、改善点

県域団体による教育旅行のプログラム開発や受入れ施設の拡大など、地域一体となって教育旅行誘致の取組を進めるとともに、地域資源の磨き上げやガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの一層の全県展開に取り組んでいる。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7 2 7 3)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
(新) 災害時における外国人観光客対応支援事業	2,250	0	2,250	1,125			1,125							
トータルコスト	3,045千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.1人]													
主な業務内容	補助金交付業務、事業の企画、関係機関との連絡調整													
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現													
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】										
<p>1 事業の目的・概要 自然災害等の発生時、外国人観光客の安全を確保するため、観光・宿泊施設等における初動体制の重要性等について周知を図る研修会を実施するほか、迅速・的確な対応を行うための体制・環境づくりの取組に対して支援する。</p>														
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 災害時における外国人観光客対応研修 250千円 県内の観光・宿泊施設等の経営者や従業員等を対象に、自然災害時の初動対応等について学ぶ研修会を実施する。</p> <p>(2) 災害時における外国人観光客対応支援補助金 2,000千円 県内の観光・宿泊施設等が行う、自然災害時における避難誘導や情報提供等のための体制、環境づくりの取組に対して支援する。</p> <p>【補助金概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>県内の観光・宿泊施設等</td> </tr> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>・多言語(又はピクトグラム)による案内素材の作成 ・外国人観光客への対応訓練 など</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>補助率 2/3 (上限 200千円)</td> </tr> </table> <p>※ピクトグラム=案内用図記号</p>									補助対象者	県内の観光・宿泊施設等	補助対象事業	・多言語(又はピクトグラム)による案内素材の作成 ・外国人観光客への対応訓練 など	補助率等	補助率 2/3 (上限 200千円)
補助対象者	県内の観光・宿泊施設等													
補助対象事業	・多言語(又はピクトグラム)による案内素材の作成 ・外国人観光客への対応訓練 など													
補助率等	補助率 2/3 (上限 200千円)													
<p>3 これまでの取組状況、改善点 近年、外国人観光客数が顕著な伸びを示している本県において、地震をはじめ、台風や集中豪雨による洪水など、いつ、どこで発生するのか分からない自然災害に対し、“災害に強い県土づくり”のためにも、外国人観光客が立ち寄る観光・宿泊施設における初動体制等の備えの重要性が高まっている。</p>														

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課 (内線 : 7 2 3 9)

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
サイクリストの聖地 鳥取県整備事業 (サイクルツーリズム推進事業)	29,500	7,500	22,000			(基金繰入金) 29,500		
トータルコスト	36,653千円 (前年度 12,958千円) [正職員 : 0.9人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明 【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

近県と連携した広域サイクリングルートを活用した相互誘客をはじめ、サイクルツーリズムの全県展開を行うため、県内横断や域内周遊ルートの設定及び整備を進めるとともに、サイクリストの利便性向上なども進め、「サイクリストの聖地鳥取県」の実現を目指す。

2 主な事業内容

(1) サイクルツーリズムの全県展開 24,800千円

① 鳥取県を東西に横断するサイクリングルート及び県東部・中部を周遊するサイクリングルートの設定を進めるとともに路面標示等の環境整備、マップ作成、情報発信等を行う。

＜東西横断ルート設定、整備スケジュール案＞

- ・ 淀江～由良 H28ルート設定、H29路面標示整備
- ・ 由良～兵庫県境 H29ルート設定、H30路面標示整備 (予定)

※由良～兵庫県境間の一部は仮ルートとして、鳥取西道路の進捗に合わせルート決定及び路面標示整備等を進める。

② 県内ルート設定に合わせて、サイクリスト休憩所などのサイクリスト支援の協力店の拡大など、安心安全なサイクリング環境の一層の充実を図るため、バイクスタンド等の設置やサイクルトレイン・バス等の試行的取組への支援を行う。

③ サイクルツーリズムに取り組む近県(広島、島根、愛媛)と連携した広域サイクリングルートを活用し、メディアの招聘など相互誘客を進める。

(単位 : 千円)

区 分	予算額	内 容
新規サイクリングルート検討費用	2,000	新規サイクリングルートの安全性などの調査及びルート検討のための試走などを実施
サイクリングマップ作成・配布	5,100	サイクリングルートマップを作成し、情報発信を行う。
路面標示・看板設置	10,200	H28年度中にルート設定する、淀江 - 由良間の36キロについて必要な路面標示、看板等整備を行う。
情報発信 (試走会実施)	3,000	・情報発信力のあるサイクリング専門誌やメディア関係者等を招聘し、国内外におけるルートの認知度向上を図る。 ・中四国サミット(29年9月頃本県開催予定)の現地視察時に、新規ルート等の試走を実施
協力店舗の拡大及びサイクリストの利便性向上、既存協力店等体制見直し	3,000	・サイクリストの休憩所、優待特典の提供等の取組に賛同する店舗等にバイクスタンド、修理工具等を設置、自転車積載タクシーへのキャリア貸与 ・既存サイクリスト拠点施設の運営体制の見直しを図り、レンタサイクル等の充実を図る。
サイクルトレイン・バスの試行	500	交通機関と自転車との乗り換えができる環境整備に向けた試行的取組を支援
近県連携による相互誘客	1,000	愛媛～大山の広域サイクリングルートを活用し、メディアの招聘など、相互誘客に取り組む。
合 計	24,800	

(2) サイクリングを活用した海外誘客 4,700千円

① 台湾発の旅行商品造成に向け、旅行会社等の県内視察、チラシ等PR素材の作成を行う。

② 県内の女性自転車愛好家チームを台湾に派遣し、本県のサイクリング文化、魅力のPRを行う。

3 これまでの取組状況、改善点

・ 県西部地域においては、複数のサイクリングコースで案内標示や休憩スポットの整備など、東・中部に先んじてサイクルツーリズムの取組が進められてきた。

・ 4県(愛媛県・鳥取県・島根県・広島県)の連携による相互誘客に繋げるため、しまなみ海道からやまなみ街道を経て宍道湖・中海・大山に至る広域サイクリングルートを設定したところであり、県西部に加え、東・中部でも機運が高まってきたことから、サイクルツーリズムの全県展開を図る。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7638)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)平成30年山陰デスティネーションキャンペーン推進事業	53,000	0	53,000	26,500			26,500	
トータルコスト	54,590千円(前年度0千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	負担金交付事務、協議会の運営及び各種連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

JRグループ6社と山陰(鳥取・島根)両県の観光事業者、行政が一体となって観光資源の開発や全国的な宣伝を行う広域的な観光キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン(以下、山陰DC)」が平成30年7月~9月に開催される。

このキャンペーンの推進組織である協議会に対して、負担金を支出する。(山陰でのDC開催は今回で6回目)

2 主な事業内容

- (1) 実施主体 山陰デスティネーションキャンペーン協議会(H28.8.8設立)
会長:鳥取県知事、副会長:島根県知事、JR西日本米子支社長
構成団体:鳥取県、島根県、JR西日本米子支社
両県観光連盟、市長会、町村会、観光関係団体等
※会長は年度ごとに鳥取県、島根県で交代(H30年度は島根県知事が会長)
- (2) 実施時期 平成30年7月1日~9月30日(92日間)
プレDC:平成29年7月1日~9月30日
アフターDC:平成31年7月1日~9月30日(予定)
- (3) キャッチフレーズ 「Nostalgic San'in 忘れがたき山陰」
- (4) 平成29年度の主な事業内容
ア プレDCの開催
イ 旅行会社を対象とした情報説明会の開催(H29.8.23を予定)
ウ 広報宣伝媒体を活用した情報発信

(5) 負担金の内訳

(単位:千円)

区 分	H29	H30・H31	合 計
鳥取県	56,000	44,000(見込)	100,000(見込)
県費	53,000	17,000(見込)	70,000(見込)
観光連盟等	3,000	27,000(見込)	30,000(見込)

※平成30年度以降の予算については各年度の当初予算で要求予定

※島根県も同額を負担予定

3 これまでの取組状況、改善点

平成30年の山陰DC開催に向け、「山陰デスティネーションキャンペーン協議会」を設立。本県の魅力を知っていただくため、観光素材の磨き上げ、旅行会社へのPRなど、島根県、JR西日本等の関係機関と引き続き連携して事業に取り組む。

<参考:山陰両県での山陰DC開催状況(過去5回とも両県で開催)>

- (1) 昭和61年8月~11月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (2) 平成9年6月~8月 「山陰三味~湯・海・食~」
- (3) 平成15年7月~9月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (4) 平成18年4月~5月 「見つけてください、あなたの山陰」
- (5) 平成24年10月~12月 「ほっと一息 あなたの旅 山陰から」

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7273)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 旅情あふれる ”鳥鉄の旅“創造事業	36,017	0	36,017				36,017	
トータルコスト	43,965千円 (前年度 0千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付事務、契約事務							
工程表の政策目標 (指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「瑞風」の運行開始を契機に、鳥取県への観光誘客をさらに強化するため、JR西日本等の鉄道事業者と連携した県内の鉄道に関連した観光素材の磨き上げやツアー造成とともに、他県にない感動あふれるおもてなしの取組等への支援を行い、鳥取ならではの鉄道の旅「鳥鉄の旅」を創造する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
1. 鳥鉄の旅ツアー創造支援事業	25,000	
旅行会社と連携したツアー造成	16,000	県内の鉄道を楽しむ観光メニューを活用した「鳥鉄の旅」ツアー商品の造成を支援
県内の鉄道を巡る旅情や楽しみ方を紹介したパンフレットの作成	3,200	絶景スポットや駅周辺のグルメ等、鉄道で巡る旅情や楽しみ方を掲載したパンフレットの作成
新聞、雑誌記者等の県内視察誘致	2,000	旅情あふれる車窓など鳥取ならではの魅力を全国にPRするための雑誌記者等の招請
JRと連携した観光イベントの開催等	2,000	駅頭観光イベントの開催、観光情報誌への「鳥鉄の旅」等の掲載による情報発信
その他	1,800	鉄道車両内での観光パンフレット等の配布
2. 鳥鉄の旅魅力造成支援事業	7,500	県内各地域で行われるおもてなしや鉄道資源等を活用した旅の魅力づくりの取組を支援する。 (取組例) 沿線での花のおもてなし、歓迎横断幕掲出、伝統芸能披露、星空観察ナイトツアーなど (補助金概要) 対 象: 県内鉄道・観光事業者、市町村、地元団体等 上 限: 500千円 補助率: 県内鉄道・観光事業者、市町村 1/2 地元団体等 10/10
3. 瑞風運行対策事業	2,267	
運行に合わせた歓迎イベント開催	1,000	瑞風初便(H29.6月)に合わせて停車駅の鳥取駅、東浜駅で歓迎イベントを開催する。 (沿線でのおもてなしは、「鳥鉄の旅魅力造成支援事業」を活用して実施)
東浜駅周辺環境整備に係る補助金 ※平成28年度当初予算において債務負担行為設定済	1,267	東浜駅周辺トイレ、レストラン等の環境整備に係る町実質負担に対して支援する。 (支援対象: 岩美町)
4. その他	1,250	事務費
合 計	36,017	

3 これまでの取組状況、改善点

これまでJR西日本と連携して情報発信や旅行商品造成の取組を行ってきたが、さらに連携を強化して、地域をあげてのおもてなしや鉄道施設、鉄道沿線の景観、沿線周辺の観光素材の磨き上げやツアー造成に取り組み、鉄道をテーマとして鳥取ならではの旅を創造する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課(内線:7239)

1 目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ICTを活用した外国人個人旅行者(FIT)対応事業	16,321	0	16,321				16,321	
トータルコスト	18,705千円(前年度 0千円) [正職員:0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人個人旅行者(FIT)の利便性向上を図るため、ICT(情報技術通信)を活用した多言語音声翻訳システム及び多言語観光ガイドを整備する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容	
(1) 多言語音声翻訳システム導入実証実験	10,000	鳥取市内の宿泊施設、観光施設、飲食店舗等で導入する多言語音声翻訳システムの構築(鳥取県固有の施設・店舗名等に係る翻訳単語及び関連する画像・動画を追加)に対して支援を行う。	
		補助対象者	鳥取市内の民間企業で構成する任意団体((株)新日本海新聞社、日本海ケーブルネットワーク(株)、日本交通(株)等が主体となり運営)
		補助対象経費	サーバー構築費、翻訳辞書追加、画像・動画の作成等に要する経費
		補助率	1/2
		補助額	10,000千円(上限)
(2) テレビ電話等による多言語観光ガイド	6,321	通訳案内士(山陰地域限定特例通訳案内士含む)等がテレビ電話等により多言語で県内の観光スポット、グルメ等の案内を行う。 ・実施期間:4ヶ月 ・対応言語:英語、中国語、韓国語 ・対応時間:8時間/日	
計	16,321		

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成27年度～28年度にかけて総務省の委託事業により、KDDI(株)が鳥取市内のタクシー18台に音声翻訳システム(鳥取県固有の地名、食等に係る翻訳単語を登録)を実装し、タクシー乗務員と外国人乗客の会話を自動翻訳する実証実験を実施した。
- ・鳥取県と(株)NTTドコモ中国支社の連携事業により、平成28年10月11日から12月31日の期間、鳥取県を訪れる外国人観光客に対して、専用アプリケーションを通じて通訳案内士(山陰地域限定特例通訳案内士含む)がテレビ電話等で鳥取県内の観光情報や交通手段を案内する実証実験を実施した。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課(内線:7239)

1 目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 宿泊施設魅力アップ事業	10,000	0	10,000				10,000	

トータルコスト 11,590千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]

主な業務内容 補助金交付業務

工程表の政策目標(指標) 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県内の宿泊施設の魅力向上を図り、本県への誘客及びリピーター獲得につなげるため、県内宿泊施設等が実施する受入環境整備に対して支援する。

2 主な事業内容

補助金名	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金	
補助対象者	県内旅館・ホテル等の宿泊施設 温泉旅館組合・ホテル旅館組合(観光客受入のための研修会開催のみ)	
補助率	1/2(上限1,000千円)	
補助対象経費	ユニバーサル化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客室、食事処等を誰もが使いやすい環境にするための整備に要する経費(和室へのベッドの整備、食事処への机、椅子の整備等) ・ テレビの字幕・手話放送、外国語放送導入に要する経費
	魅力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験メニュー造成に要する経費(着物体験メニュー造成など) ・ 観光客受入のための研修会開催等に要する経費
予算額	10,000千円	

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県を訪れる観光客が心地よく滞在できるよう温泉地の魅力向上、高齢者や障がいのある方にも楽しく観光いただける魅力的なコース設定、外国人観光客の受入環境整備などに取り組んでいるところ。引き続き、誰もが楽しめる観光地づくりを目指すとともに、宿泊施設の魅力向上を行うことにより、一層のおもてなし態勢の整備に取り組む。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入推進事業	23,736	22,819	917	572			23,164	
トータルコスト	25,326千円(前年度 24,379千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪れる外国人観光客の利便性向上を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へつなげるため、官民が連携し受入環境の整備を実施する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 受入環境整備支援	15,000	県内宿泊施設、観光施設等における外国人観光客の受入体制整備に対する取組を支援する。
		補助金名 鳥取県外国人観光客倍増促進補助金
		補助対象者 市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)
		補助率 1/2(上限1,000千円)
		対象経費 <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入のための研修会開催 案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 外国語表記看板、クレジットカード対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 Wi-Fi環境整備 消費税免税店舗の開設等に要する経費 ムスリム観光客のための環境整備 両替及びモバイルサービス等導入 宿泊施設における和室の洋室化
その他	補助金交付は1事業者あたり同一年度2回まで可能	
(2) 観光案内体制の整備	5,736	米子空港ビル(香港便・ソウル便)及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所へ案内人を配置する。
(3) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	1,000	多言語電話通訳サービスを提供する。(通年)
(4) 「おもてなし」の充実	2,000	県内空港等におけるチャーター便歓迎行事を実施する。
計	23,736	

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県が策定した「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針(平成27年3月策定)」に定めた外国人観光客の消費額や宿泊者数の目標を達成するため、本県を来訪する外国人観光客が心地よく滞在できるよう、県では、県内宿泊施設、観光施設等のWi-Fi環境整備、ホームページの多言語化、外国語表記看板等の支援、米子鬼太郎空港・境港国際旅客ターミナルの観光案内所に外国語対応可能な案内人の配置等を実施している。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課 (内線: 7273)

1 目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
クルーズ客船受入推進事業	6,370	4,370	2,000				6,370	

トータルコスト 8,754千円 (前年度 6,709千円) [正職員: 0.3人]

主な業務内容 補助金交付業務、事業の企画、関係機関との連絡調整

工程表の政策目標(指標) 外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

クルーズ客船の鳥取港及び境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ客船寄港時、より多くの乗船客が県内観光地等に立ち寄るよう、県内観光素材の売り込みを強化するとともに、周辺施設等を周遊するバスの運行支援により受入環境の充実を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
(新) オプショナルツアープロモーション強化	2,000	クルーズ客船の船会社・ランドオペレーター(現地手配旅行社) 提案用の鳥取県観光素材集を制作する。
オプショナルツアーコース提案支援事業	600	クルーズ船寄港時のオプショナルツアーコースとして、県内観光素材を取り入れたコースの提案を支援する。 【補助対象者】 民間事業者等 【補助対象経費】 提案資料作成、旅行会訪問に係る経費等 【補助率等】 補助率1/2、補助金額の上限: 200千円
周遊バス運行支援事業	3,770	港から周辺施設等への周遊バスの運行を支援する。 【補助対象者】 市町村、観光関係団体等 【補助対象経費】 運行経費から運賃収入を除いた経費 【補助率】 1/2
合 計	6,370	

3 これまでの取組状況、改善点

寄港誘致については、境港・鳥取両港と連携体制を密にし、幅広いポートセールスを進めるとともに、オプショナルツアー等による本県への誘客につなげるため、民間観光事業者等と連携した船会社・ランドオペレーター(現地手配旅行会社)への定期的な訪問によるツアー造成の働きかけ等に取り組んでいる。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光周遊促進支援事業	24,463	33,702	△9,239				24,463	
トータルコスト	27,642千円（前年度36,821千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年増加している個人旅行者に対する利便性及び本県旅行商品の魅力向上につなげることを目的に、基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランを充実する。

2 主な事業内容

(1) 境港国際ターミナルと県中部・東部地区を結ぶリムジンバスの運行及び広報支援

（6,523千円）

名称	事業主体	補助率
境港国際旅客ターミナルと東部・中部との連絡バス	日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社	10/10

(2) 県内に発着又は宿泊する外国人旅行者向けに主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援（13,831千円）

補助対象者	民間事業者等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(3) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（3,479千円）

名称	事業主体	補助率
鳥取因幡・Gバス	鳥取市観光コンベンション協会	1/3
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会	
鳥取・蒜山とりミングバス	鳥取中部観光推進機構	

※平成28年11月補正予算で一部債務負担行為設定済

(4) 「とっとりもの総合案内」作成（630千円）

観光客に県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東中西部のエリア別に観光二次交通と観光情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 これまでの取組状況、改善点

観光二次交通については、観光客の県内移動の利便性を高めるだけでなく、観光地等を容易に周遊できるよう整備を進め、県外を含め多くの観光客に利用していただき、大きな成果を得ている。今後も、新たなコースを加えるなど滞在時間の延長と県内観光地等の魅力発信を推進する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課(内線:7239)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
(新) ウィンターイルミネーション支援事業	7,500	0	7,500				7,500									
トータルコスト	9,090千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]															
主な業務内容	補助金交付事務															
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要 観光入込客が減少する冬期に県内外からの誘客を図るため、鳥取砂丘で行うイルミネーション事業に対して支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容 「鳥取砂丘イリュージョン」に対する支援</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2 ※鳥取市も同率で補助予定</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>7,500千円(限度額) ※鳥取市も同額を補助予定</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 鳥取砂丘イリュージョンは平成15年度の開催以降、毎年多くの来場者があり、冬期の観光素材として定着している。 平成28年度から鳥取市内の地域イベント等に取り組んでいる風土資産研究会、鳥取市内の商工団体、観光団体等により構成される鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)が新たに設立され、同イリュージョンを継続実施した。</p>									補助対象者	鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)	事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等	補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定	補助額	7,500千円(限度額) ※鳥取市も同額を補助予定
補助対象者	鳥取砂丘イリュージョン実行委員会(事務局:風土資産研究会)															
事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等															
補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定															
補助額	7,500千円(限度額) ※鳥取市も同額を補助予定															

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7273)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっりの新たな旅づくり事業	4,320	5,240	△920			(基金繰入金) 4,320		
トータルコスト	5,115千円 (前年度 6,800千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	補助金交付業務、関係先との調整							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明 【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県の津々浦々までお客様が観光周遊し、地域の消費喚起と新たな観光循環を起こす「とっりの新たな旅づくり」のため、地域のすぐれたお宝の観光商品化と周遊の仕組みづくりを行う。

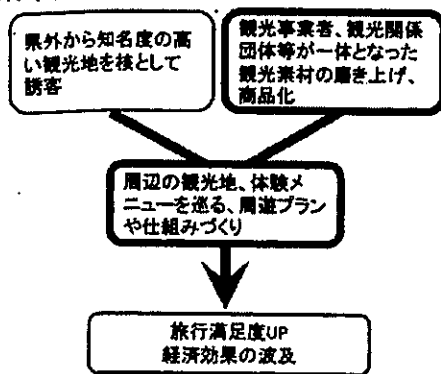
2 主な事業内容

平成27年度から継続(一部、平成28年度から着手)して取り組んでいる地域において、観光事業者のみではなく、地域の多様な担い手が参画し、専門家の助言を受けながら、地域が誇る良いものの洗い出し及び磨き上げ等とともに、旅行商品の開発やそれに付随するプロモーションなど、当該地域への誘客、経済効果の享受につながる仕組みづくりの取組に対して支援を行う。

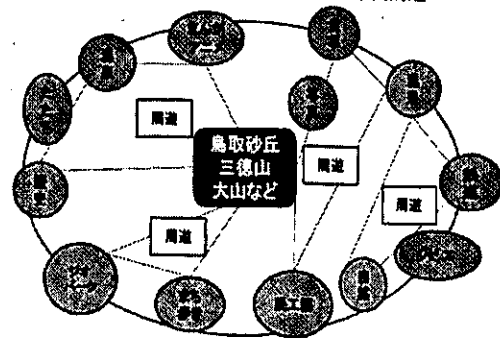
【補助金概要】

事業主体	(公社) 鳥取県観光連盟
事業費	4,320千円(補助・定額)
エリア	八頭町・若桜町、琴浦町、日野郡 及び 鳥取市
内容	<ul style="list-style-type: none"> これまでに開発した観光素材の改良、パリエーションの追加や磨き上げ等により、実際の旅行商品へ組み込む等、当該素材の「売れる化」の実現に取り組む。 地域の認知状況や評価の把握調査の実施とともに、市場動向を見据えたプロモーションのあり方等の学習を通して、より一層の主体的な誘客活動につなげる。

〈事業イメージ〉



例: 知名度の高い観光地からはじまる県内周遊



3 これまでの取組状況、改善点

新たなグルメメニューの開発など、それぞれの地域の特性を活かした観光商品の開発及び試験販売等に取り組んできており、引き続き、より消費者に受け入れられるような商品やサービスに磨き上げる等、地域一体となって「売れる化」の実現に取り組む。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課 (内線: 7221)

1目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)攻めるSNSインバウンドマーケティング事業(外国人個人旅行者(FIT)対策)	12,000	0	12,000				12,000	
トータルコスト	15,179千円(前年度 0千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整・情報発信事務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、近年急増している訪日外国人個人旅行者(FIT)に対して、県内の観光情報をSNS等により発信するほか、発信結果のデータ分析(嗜好等)等を実施し、更なる個人旅行者の誘致に取り組む。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>香港・韓国・台湾など鳥取県への個人旅行者が多い重点市場については、フェイスブックにより観光地等の情報発信を行っているが、さらにターゲットを絞って発信することにより、訪日に関心のある者にピンポイントに情報が届くような仕組みとする。また、閲覧状況をデータ分析することにより、個人旅行者の趣味・嗜好を把握し、新たな観光地の発掘や観光地の魅力度向上を図る。</p> <p style="margin-left: 20px;">事業費: 12,000千円</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>これまで本県重点市場について、フェイスブックにより情報発信を行っているが、本県に興味のある者に対してのみ情報が届いており、新たな個人旅行者に対して届くことが少なかった。ついでには、フェイスブックにおいて、訪日に関心のある者にピンポイントに情報が届く仕組みを活用しつつ情報発信の頻度を上げるとともに、外国人の関心が高い記事(情報)の分析を行うことで個人旅行者の更なる増加を狙う。</p> <p>※SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス(social networking service)の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。</p> <p>※フェイスブック: 世界規模で利用されるSNSサイトのひとつ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課（内線：7629）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）伸びるASEAN新規市場からの誘客事業	6,100	0	6,100				6,100	

トータルコスト 14,048千円（前年度 0千円）〔正職員：1.0人〕

主な業務内容 海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務委託

工程表の政策目標（指標） 外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日外国人観光客数の伸びが著しいASEAN（東南アジア諸国連合）市場のうち、特に伸びているベトナム、フィリピンから新たな誘客を強化し、訪日地方旅行の先駆地域を目指す。

また、新規市場からの誘客による本県観光産業の振興を図るとともに、トランジット（経由）活用による米子ソウル便（エアソウル）、米子香港便（香港航空）の利用促進に繋げる。

2 主な事業内容

(1) ベトナム関係事業 4,100千円

ベトナム人に好まれる「蟹」、「梨」、「コナン」を前面に出したプロモーションを展開する。ベトナムにおいては、まだ日本自体の情報が少ないため、旅行はほぼゴールデンルートに偏っている。よって、訪日送客の得意な旅行社としっかり連携し、まずは鳥取県の知名度アップを図ると共に、東京・関西との抱き合わせツアーによる誘客に取り組む。

<事業内容>

（単位：千円）

内 容	予算額
日本情報発信イベント出展	1,500
旅行社、メディア等視察ツアーの実施	1,000
名探偵コナン関連イベント出展	1,000
観光情報説明会の開催	600
計	4,100

(2) フィリピン関係事業 2,000千円

まずは鳥取県の知名度を向上させるために、旅行社やメディア関連の視察ツアー、旅行博への出展等、段階的にプロモーションを実施していく。

<事業内容>

（単位：千円）

内 容	予算額
旅行社、メディア等視察ツアーの実施	1,000
フィリピン国際旅行博の出展	1,000
計	2,000

3 これまでの取組状況、改善点

これまで韓国、香港、台湾、中国といった東アジアを中心に誘客を進めているが、米子香港便の就航により、特に誘客の可能性の拡がった東南アジアに向けてプロモーションを強化し、各市場ニーズに合った戦略的な事業を展開する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7629）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																															
(新) 平昌オリンピック・パラリンピックを活用した人・モノ交流活性化事業	5,000	0	5,000	2,500			2,500																															
トータルコスト	6,590千円（前年度 0千円）[正職員：0.2人]																																					
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、宣伝業務委託																																					
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現																																					
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】																																		
<p>1 事業の目的・概要 本県の友好交流先である韓国江原道で「平昌冬季オリンピック・パラリンピック」が開催されるのを機に、国際定期便（米子ソウル便・環日本海定期貨客船）を活用した当県への旅行商品造成やモニターツアーの実施、さらにはオリンピック観光情報の発信を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 平昌オリンピック・パラリンピック来訪者誘客事業（欧米向け）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業内容</td> <td>韓国との国際定期便（米子ソウル便・環日本海定期貨客船）を活用したオリンピック会場からのオプションツアー造成【欧米向けクールジャパンツアー】</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>平昌オリンピック・パラリンピック開催期間中 （平成30年2月9日～25日、3月9日～18日）</td> </tr> <tr> <td>事業実施</td> <td>訪日旅行を取り扱う旅行社に委託</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>2,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 平昌オリンピック・パラリンピック来場者誘客事業（ユニバーサルツーリズム）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業内容</td> <td>高齢者・障がい者等、誰もが安心して旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」普及促進のため、韓国からの高齢者・障がい者モニターツアーを実施し、平昌や東京パラリンピックでの本格的なツアー造成、受入環境整備に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前（平成29年4～7月頃）</td> </tr> <tr> <td>事業実施</td> <td>ユニバーサルツアーを取り扱う旅行社に委託</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>1,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 平昌オリンピック・パラリンピック関連ツアー造成支援・情報発信事業（アウトバウンド）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業内容</td> <td>韓国との国際定期便を活用したオリンピック会場視察モニターツアーの実施や、オリンピック観戦応援ツアーの造成支援、関連旅行商品の情報発信</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前及び期間中</td> </tr> <tr> <td>事業実施</td> <td>オリンピック観戦ツアー等を取り扱う旅行社に委託</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>2,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 外国人宿泊者数15万人の目標達成に向け、平昌や東京でのオリンピック・パラリンピック開催を契機とし、当県への入込客数が少ない欧米市場の観光客誘客や、国際定期便の安定運航のため、アウトバウンド利用の活性化を図る必要がある。 また、国の「観光ビジョンの実現に向けたアクションプログラム」でも示されている「ユニバーサルツーリズム」の普及促進のため、モニターツアー実施等により、高齢者・障がい者など誰もが安心して楽しめるツアー造成等を進める。</p>									区分	内容	事業内容	韓国との国際定期便（米子ソウル便・環日本海定期貨客船）を活用したオリンピック会場からのオプションツアー造成【欧米向けクールジャパンツアー】	時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間中 （平成30年2月9日～25日、3月9日～18日）	事業実施	訪日旅行を取り扱う旅行社に委託	予算額	2,000千円	区分	内容	事業内容	高齢者・障がい者等、誰もが安心して旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」普及促進のため、韓国からの高齢者・障がい者モニターツアーを実施し、平昌や東京パラリンピックでの本格的なツアー造成、受入環境整備に取り組む。	時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前（平成29年4～7月頃）	事業実施	ユニバーサルツアーを取り扱う旅行社に委託	予算額	1,000千円	区分	内容	事業内容	韓国との国際定期便を活用したオリンピック会場視察モニターツアーの実施や、オリンピック観戦応援ツアーの造成支援、関連旅行商品の情報発信	時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前及び期間中	事業実施	オリンピック観戦ツアー等を取り扱う旅行社に委託	予算額	2,000千円
区分	内容																																					
事業内容	韓国との国際定期便（米子ソウル便・環日本海定期貨客船）を活用したオリンピック会場からのオプションツアー造成【欧米向けクールジャパンツアー】																																					
時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間中 （平成30年2月9日～25日、3月9日～18日）																																					
事業実施	訪日旅行を取り扱う旅行社に委託																																					
予算額	2,000千円																																					
区分	内容																																					
事業内容	高齢者・障がい者等、誰もが安心して旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」普及促進のため、韓国からの高齢者・障がい者モニターツアーを実施し、平昌や東京パラリンピックでの本格的なツアー造成、受入環境整備に取り組む。																																					
時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前（平成29年4～7月頃）																																					
事業実施	ユニバーサルツアーを取り扱う旅行社に委託																																					
予算額	1,000千円																																					
区分	内容																																					
事業内容	韓国との国際定期便を活用したオリンピック会場視察モニターツアーの実施や、オリンピック観戦応援ツアーの造成支援、関連旅行商品の情報発信																																					
時期	平昌オリンピック・パラリンピック開催期間前及び期間中																																					
事業実施	オリンピック観戦ツアー等を取り扱う旅行社に委託																																					
予算額	2,000千円																																					

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

観光戦略課（内線：7221）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）ロシアからの訪日観光客拡大事業	4,950	0	4,950	2,475			2,475	
トータルコスト	8,129千円（前年度 0千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	旅行商品造成・販売促進支援、広報業務委託							
工程表の政策目標(指標)	ロシア人観光客の倍増							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県へのロシア人観光客の更なる増加を促進するため、誘客対象をロシア全土に拡大するとともに、交流地域である沿海地方からの定期便を利用した誘客を拡大させる。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
定期便を利用したロシア沿海地方からの誘客拡大事業	1,950	環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリー等を活用した訪日ツアー造成する旅行会社への広報・送客支援
ロシア全土対象誘客事業	3,000	YOUTUBER（動画共有サービスYouTube上で独自に制作した動画を継続的に公開する人物）、パワーブロガー（影響力ある日記等を執筆している人物）などの広報視察ツアー実施等の観光情報発信
計	4,950	

3 これまでの取組状況、改善点

これまでは、鳥取県との交流地域かつ環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーが停泊する沿海地方・ウラジオストクにおける観光客誘致を実施してきたところであるが、2016年12月16日の日露首脳会談を機に、1月1日よりロシア国民（一般旅券所持者）に対する短期滞在ビザの発給要件緩和措置が決定され、ロシアからの訪日観光客の増加が見込まれている。

よって、誘客対象地域をロシア全土に拡大させ、ロシア人の嗜好にあった事業を戦略的に実施し、本県への誘客を図る。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7221)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業	22,924	0	22,924				22,924	
トータルコスト	30,872千円 (前年度 0千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	情報発信ツール制作、体験プログラムづくり、関係機関との連絡・調整							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県には、夜の鳥取砂丘、大山に広がる満天の星や、観測施設などが整ったさじアストロパークなど星空のショーを楽しむことができる観光素材が多い。本県が誇る、日本一美しく、手に取れそうなほど星が近い「星取県」を情報発信し、観光客の誘客に活用していくため、来訪客が楽しめるような着地型企画の事業化を進める。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
星に関係性の深い著名人の「星取県スター大使(仮称)」任命	10,000	キックオフイベント(首都圏メディア発表会)
	4,000	キックオフイベント後の大使本人を活用したイメージアップ戦略 (星空マップへの登用、本人の情報発信、県内イベント招へいなど)
「星取県」ブランドイメージ構築	2,700	星空スポットのマップ、サイトなどを作成してイメージアップを図る。また、ホテルや旅館に星空マップを設置し、来訪者への認知度を高める。
星空体験プログラムづくり	5,400	国内及び外国人向けに提供できる体験プログラムを作る事業者に対して助成を行う。 補助率: 2/3、上限額: 1,000千円
星関係雑誌や旅行雑誌の取材招へい	500	星空写真特集を組む時期に合わせて雑誌記者を招へいし、情報発信する。
アクティビティ専用サイトでの情報発信	324	星空に関する体験プログラムをアクティビティ専用サイトに掲載し、国内及び海外に情報発信する。
合計	22,924	

3 これまでの取組状況、改善点

これまでも星空にスポットをあてた民間の取組はあったが、観光素材としては十分に活用されていなかった。平成23年には星の見えやすさ全国一位(環境省調査)にもなった鳥取県を、改めて「星取県」として価値を高め、来訪客が楽しめる新たな観光素材として事業展開する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課（内線：7221）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 外国人の心に響くコンテンツ制作・発信事業	3,000	0	3,000				3,000	
トータルコスト	6,179千円（前年度 0千円） [正職員：0.4人]							
主な業務内容	動画製作に係る連絡・調整							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 本県の魅力的な観光地を動画で撮影し、フェイスブックやブログなどSNSによる情報発信や、旅行博覧会・海外旅行社へのPRなどの際に、映像として披露することで本県への誘客に繋げる。</p> <p>2 主な事業内容 国外の映像製作会社又は著名な写真家等を招聘し、外国人目線で観光スポットを発掘し、映像化する。また、ドローンを使用し、空撮による観光地全体の映像化や、日項目にすることが出来ない風景等を撮影し、見る人の記憶に残る動画を制作する。 事業費：3,000千円</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 これまでも観光地の紹介動画はあったが、国内向けの動画を外国語翻訳したもので、必ずしも外国人の好みにあったものとは言えなかった。 そこで、新たに外国人目線で観光地の動画を作成し、外国人向け情報発信の強力なツールとして使用し、誘客に繋げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※フェイスブック：世界規模で利用されるSNSサイトのひとつ。インターネットに接続したパソコンや携帯電話等からアクセスする。「仲間たちと交流を深めること」を目的としているのが特徴の一つ</p> <p>※ブログ：意見や感想を書き綴ったり、撮影した写真などを掲載したりする日記的なウェブサイト 「web（ウェブ）」と「log（記録）」の混成語「weblog」による造語</p> <p>※SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。</p> </div>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)東アジア地方政府 観光フォーラム実務代 表者会議開催事業	9,173	0	9,173				9,173											
トータルコスト	15,531千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.8人]																	
主な業務内容	事務局等との連絡調整、会議開催事務																	
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>東アジア10地方政府の行政、観光業界、大学等の産学官が集い、東アジア域内の交流推進と世界各地からの観光誘客を目的とした「東アジア地方政府観光フォーラム(以下「EATOF」)総会」を平成30年に本県において開催するに当たり、各地域の部局長クラスで構成する「実務代表者会議」を平成29年8月(調整中)に本県で開催する。</p> <p>【EATOFの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設立: 平成12年9月(当時の江原道知事の発案により創設) ○参加10地方政府 鳥取県(日本)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、 ジョグジャカルタ特別州(インドネシア)、セブ州(フィリピン)、サラワク州(マレーシア)、 クアンニン省(ベトナム)、シエムリアップ州(カンボジア)、ルアンパバン県(ラオス) ○事務局: 江原道(韓国)(組織体制: 事務局長1名、専門員1名 計2名) ○活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・EATOF総会、EATOF実務代表者会議を隔年で開催 ・参加地方政府の文化的イベントへの参加 ・海外主要観光展への共同参加 ・共同広報マーケティング活動(HP、パンフレット、DVD) <p>2 主な事業内容</p> <p>EATOF2017実務代表者会議の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 時期: 平成29年8月(調整中) (2) 実務代表者会議・歓迎レセプション会場: 県東部地区(調整中) (3) 招聘人数: 各参加地方政府最大5名程度(通訳含む) (4) 経費負担 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県: 日本到着空港から鳥取県への移動費、県内移動費及び滞在費 ・各参加地方政府: 各参加地域から日本への渡航費 (5) 開催日程 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">日程</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">第1日目</td> <td>各参加地域の鳥取県到着</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2日目</td> <td>実務代表者会議、歓迎レセプション</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3日目</td> <td>EATOF総会開催場所現地視察</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第4日目</td> <td>各参加地域の鳥取県出発</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>EATOF 総会は、各参加地方政府が持ち回りで開催することになっており、本県は平成16年に一度開催している。</p> <p>平成28年10月にインドネシアのジョグジャカルタ特別州で開催された総会において、次回の鳥取県での開催が承認され、平成30年の本県2度目の開催が決定した。</p>									日程	内 容	第1日目	各参加地域の鳥取県到着	第2日目	実務代表者会議、歓迎レセプション	第3日目	EATOF総会開催場所現地視察	第4日目	各参加地域の鳥取県出発
日程	内 容																	
第1日目	各参加地域の鳥取県到着																	
第2日目	実務代表者会議、歓迎レセプション																	
第3日目	EATOF総会開催場所現地視察																	
第4日目	各参加地域の鳥取県出発																	

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課（内線：7310）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東アジア市場誘客事業	68,407	53,257	15,150	15,000			53,407	
トータルコスト	77,945千円（前年度 62,795千円）〔正職員：1.2人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪問する東アジア市場（韓国・香港・台湾・中国）からの外国人観光客を増加させることにより、県内観光消費額の増大と本県観光産業の一層の発展を図るため、本県の国際定期便や近隣空港定期便、県内空港へのチャーター便を利用し、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの外国人観光客誘客に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
韓国	29,257	(1) ソウル駐在員の配置（2名） (2) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (3) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (4) エアソウルやDBSクルーズフェリーと連携した情報発信・誘客事業
香港	31,150	(1) 香港駐在員の配置（1名） (2) 鳥取県フェア等の開催 (3) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (4) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (5) 香港航空と連携した情報発信・誘客事業
台湾	6,000	(1) 広報宣伝などのプロモーション委託 (2) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (3) 現地旅行博出展
中国	2,000	(1) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (2) 現地旅行博出展
計	68,407	

※ SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

3 これまでの取組状況、改善点

当県インバウンド誘客の最重要市場である東アジア地域において、各市場への情報発信やメディア招請、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動を実施しているところ。

「鳥取県元気づくり総合戦略」で定めた年間外国人宿泊者数の目標15万人の達成、国際定期便の安定運航及び維持発展には、東アジア市場においてさらなる誘客が必要である。

今後も、増加が期待される個人旅行客向けのプロモーションを強化するほか、当県の魅力を最大限に情報発信し、対象市場においての認知度向上のほか、リピーターの確保を図る。

また、関係機関と連携し、JRバスやレンタカーなどを利用した広域周遊の促進など、外国人観光客のニーズに合わせたプロモーションを実施する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東南アジア・ロシア市場誘客事業	12,000	12,350	△350				12,000	
トータルコスト	19,948千円（前年度 20,298千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日観光客が順調に伸びている東南アジア市場（タイ、マレーシア、シンガポール）及び交流機運が高まっているロシア市場からの本県への誘客を増加させることによって、県内観光消費額を増加させ、本県観光産業の振興を図るとともに、乗り継ぎ利用による米子ソウル便（エアソウル）、米子香港便（香港航空）など国際交通基盤の維持・発展に寄与することに取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
タイ	4,100	(1) 個人旅行者向け、企業報奨旅行向け、旅行会社向けパンフレット作成 (2) タイ人向けフェイスブック掲載情報収集のための県内サポーター配置 (3) 観光と食の魅力を発信する旅行会社向け観光情報説明会の開催 (4) 旅行会社、旅行雑誌、新聞を対象とした視察旅行の招請 (5) 岡山県と連携した香港乗継による旅行雑誌社等の招請
マレーシア	3,900	(1) マレーシア大手旅行会社と連携した国際旅行博への出展 (2) 旅行会社、旅行雑誌、新聞を対象とした視察旅行の招請 (3) 鳥取県観光物産展inマレーシアの開催
シンガポール	2,000	(1) 日本政府観光局主催の企業報奨旅行に係るセミナーへの出展 (2) JR東日本運営の訪日情報発信カフェで観光情報説明会の開催
ロシア	2,000	(1) ロシア人観光客の好みを踏まえた旅行商品造成 (2) ロシア現地における観光プロモーションの実施
計	12,000	

3 これまでの取組状況、改善点

本県インバウンド誘客の重要市場に位置付けている東南アジア（タイ、マレーシア、シンガポール）地域及びロシア地域において、まずは本県の知名度向上を図るために、各市場で開催されている国際旅行博への出展、商談会、セミナーへの参加、観光情報説明会の開催、現地旅行会社やメディア等を対象とした視察旅行の招請を集中的に実施しているところ。

「鳥取県元気づくり総合戦略」で定めた年間外国人宿泊者数の目標15万人の達成及び国際定期便の安定運航及び維持発展には、現時点で本県を訪れる外国人観光客の大半を占める東アジア（韓国、香港、台湾、中国）市場に次ぐ重要な市場として、さらなる誘客のための取組が必要である。

今後も、増加が期待される個人旅行者向けのプロモーションを強化するほか、当県の魅力を最大限情報発信し、対象市場においての認知度向上のほか、リピーターの確保を図る。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
外国人観光客送客促進事業	42,920	19,920	23,000				42,920																			
トータルコスト	46,510千円 (前年度 21,510千円) [正職員: 0.2人]																									
主な業務内容	関係機関との調整、補助金業務																									
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県を訪問する外国人観光客の増加により、県内観光消費額を増加させ、本県の観光産業振興を図る。</p>																										
<p>2 主な事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 25%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外国人観光客送客促進事業補助金</td> <td> 1 事業実施主体 訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 補助対象事業 (1) 視察・モニターツアー実施経費 (2) 旅行商品の広報宣伝経費 (3) 販売促進ツール作成経費 (4) 旅行商品販売促進を自社ウェブサイトで行う場合の広報宣伝経費 (5) ケーブルテレビホームショッピング番組放映に要する経費 (6) サイクリングツアーに係る経費 (7) トレッキングツアー及びウォーキングツアーに係る案内ガイド経費 (8) 貸切バスの借り上げに係る経費 (前年度からの変更点) 補助要件を緩和 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">27,920</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">変更前</th> <th style="width: 50%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">県内2泊以上、上限なし</td> <td style="text-align: center;">県内1泊以上、上限2泊</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国人観光客誘致対策事業補助金</td> <td> 1 事業実施主体 国際定期航路利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期航路利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">15,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">42,920</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	予算額	外国人観光客送客促進事業補助金	1 事業実施主体 訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 補助対象事業 (1) 視察・モニターツアー実施経費 (2) 旅行商品の広報宣伝経費 (3) 販売促進ツール作成経費 (4) 旅行商品販売促進を自社ウェブサイトで行う場合の広報宣伝経費 (5) ケーブルテレビホームショッピング番組放映に要する経費 (6) サイクリングツアーに係る経費 (7) トレッキングツアー及びウォーキングツアーに係る案内ガイド経費 (8) 貸切バスの借り上げに係る経費 (前年度からの変更点) 補助要件を緩和	27,920	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">変更前</th> <th style="width: 50%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">県内2泊以上、上限なし</td> <td style="text-align: center;">県内1泊以上、上限2泊</td> </tr> </tbody> </table>	変更前	変更後	県内2泊以上、上限なし	県内1泊以上、上限2泊		外国人観光客誘致対策事業補助金	1 事業実施主体 国際定期航路利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期航路利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業	15,000	計		42,920
区分	内容	予算額																								
外国人観光客送客促進事業補助金	1 事業実施主体 訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 補助対象事業 (1) 視察・モニターツアー実施経費 (2) 旅行商品の広報宣伝経費 (3) 販売促進ツール作成経費 (4) 旅行商品販売促進を自社ウェブサイトで行う場合の広報宣伝経費 (5) ケーブルテレビホームショッピング番組放映に要する経費 (6) サイクリングツアーに係る経費 (7) トレッキングツアー及びウォーキングツアーに係る案内ガイド経費 (8) 貸切バスの借り上げに係る経費 (前年度からの変更点) 補助要件を緩和	27,920																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">変更前</th> <th style="width: 50%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">県内2泊以上、上限なし</td> <td style="text-align: center;">県内1泊以上、上限2泊</td> </tr> </tbody> </table>	変更前	変更後	県内2泊以上、上限なし	県内1泊以上、上限2泊																					
変更前	変更後																									
県内2泊以上、上限なし	県内1泊以上、上限2泊																									
外国人観光客誘致対策事業補助金	1 事業実施主体 国際定期航路利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期航路利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業	15,000																								
計		42,920																								
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>外国人観光客送客促進事業補助金活用による視察ツアーの実施により、実際にツアーが催行されたり、また、ケーブルテレビホームショッピング番組放映により来県客数が増加するなど、同補助金は誘客促進に有効なものとなっている。</p> <p>今後も同補助金を効果的に活用しながら、本県と新たに定期便で繋がった香港や、訪日客数の伸びが著しい東南アジアなどから、一層の誘客を図っていく。</p>																										

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7221）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	4,600	0				4,600	
トータルコスト	6,984千円（前年度6,939千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	環日本海定期貨客船航路（旅客）の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの旅客利用のうち、特に一層の利用促進が必要な日本からの利用者の増加を図るための支援を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
国際定期便利用促進協議会負担金	1,100	○グループ旅行支援/4名以上のグループに対して経費の一部を支援 ○修学旅行支援/修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援 ○情報発信事業
シャトルバス運行委託費	3,500	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行を委託
計	4,600	

3. これまでの取組状況、改善点

日本人向けのDBSクルーズフェリーを利用した韓国・ロシア行き旅行商品の造成に取り組んできたが、より多様な商品の造成を図り、利用促進につなげる。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7310)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	45,205	43,049	2,156			(雑入) 16	45,189	
トータルコスト	49,974千円 (前年度46,168千円) [正職員: 0.6人、非常勤職員: 2.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県への外国人観光客を増加させ、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便(米子ソウル便、米子香港便、環日本海定期貨客船)などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容																														
広域連携国際観光推進事業負担金	9,760	山陰・中国5県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>目的・内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金</td> <td>3,800</td> <td>中国五県連携訪日観光事業推進等</td> </tr> <tr> <td>中国地方インバウンドフォーラム負担金</td> <td>1,000</td> <td>東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動</td> </tr> <tr> <td>京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金</td> <td>1,000</td> <td>ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客</td> </tr> <tr> <td>関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金</td> <td>800</td> <td>観光案内所の運営経費(情報発信・情報収集業務)</td> </tr> <tr> <td>東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金</td> <td>1,200</td> <td>東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)地域交流促進</td> </tr> <tr> <td>国際観光振興機構負担金</td> <td>660</td> <td>国内外の観光情報提供等</td> </tr> <tr> <td>東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金</td> <td>800</td> <td>東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致</td> </tr> <tr> <td>山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金</td> <td>500</td> <td>レンタカーでの周遊促進事業</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,760</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額	目的・内容	中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	3,800	中国五県連携訪日観光事業推進等	中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客	関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800	観光案内所の運営経費(情報発信・情報収集業務)	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,200	東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)地域交流促進	国際観光振興機構負担金	660	国内外の観光情報提供等	東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	800	東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致	山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500	レンタカーでの周遊促進事業	計	9,760	
区 分	予算額	目的・内容																														
中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	3,800	中国五県連携訪日観光事業推進等																														
中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	東アジア・東南アジア向けの観光客誘客活動																														
京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客																														
関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800	観光案内所の運営経費(情報発信・情報収集業務)																														
東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,200	東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)地域交流促進																														
国際観光振興機構負担金	660	国内外の観光情報提供等																														
東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	800	東京オリンピックを見据えた外国人観光客の地方への誘致																														
山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500	レンタカーでの周遊促進事業																														
計	9,760																															
JR西日本との連携事業	1,000	JR西日本、中国四国各県等と連携し、東アジア及び東南アジア市場へ誘客プロモーションを行う。																														
外国人観光客倍増促進補助金	2,000	県内事業者を対象に、外国人観光客誘客のためのプロモーション経費等に対して補助金を交付する。																														
多言語ホームページ管理・観光PRツール制作費	8,363	海外向け多言語観光ホームページ維持管理委託費及び外国語版観光パンフレット等のPRツール増刷等の経費																														
国際観光業務非常勤配置等	24,082	非常勤職員の配置及びその他標準事務費																														
計	45,205																															

3 これまでの取組状況、改善点

近隣各県や海外地方政府、民間事業者等と連携し、各市場への情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施しているところ。

今後も関係機関と連携し、JRバスやレンタカーなどを利用した広域周遊の促進など、外国人観光客のニーズに合わせたプロモーションを展開する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光交流局 管理運営費	3,963	4,060	△97				3,963	
トータルコスト	4,758千円（前年度 4,840千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、観光交流局業務の方針検討、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明 <p style="text-align: center;">観光交流局所掌事務に係る連絡調整、庁内外との連携等を推進するための事務的経費である。</p>								
事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	247,765	233,409	14,356				247,765	
事業内容の説明 <p style="text-align: center;">一般職員35名分の人件費である。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費〈地方機関計上予算〉

観光戦略課(内線:7239)
 中部総合事務所地域振興局(電話:0858-23-3290)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム推進事業(ウォーキングリゾートの推進)	15,117	33,609	△18,492				15,117	
トータルコスト	17,502千円(前年度67,453千円) [正職員:0.3人]							
主な業務内容	事業企画・委託事務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	ウォーキングを活用した地域づくりとインバウンドの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会の成果を活かして、世界に通用するウォーキングコースの整備を進め、ウォーキングを活用した地域づくりとインバウンドの推進を図る。
 また、県中部で開催されるウォーキング大会を通じて、関係団体・住民ボランティアと一丸となって、鳥取県中部地震からの復興と飛躍の姿を国内外に発信する。

2 主な事業内容

(1) 世界に通用するウォーキングコースの整備 8,137千円

ア 全県一筆書きコースのグランドデザイン策定(4,137千円)

全県を横断するロングトレイルの整備に向けて、大山・三徳山ロングトレイルと山陰海岸ジオパークトレイルの間を繋ぐコース(三徳山～鳥取市)のグランドデザインを策定する。

委託先想定	ウォーキング関係団体及び雑誌社
委託内容	コース調査・実踏、グランドデザイン作成、特集記事掲載等

イ 旅行商品化への支援(4,000千円)

WTC鳥取大会のコース等を磨きあげ、旅行商品化を図る市町を支援する。

事業主体	中部5市町
補助対象	①環境整備(コースサイン設置、植栽、ガイド養成、コースマップ作成等) ②旅行商品の造成、プロモーション等
補助率等	1/2(上限2,000千円/市町(2カ年))

(2) ウォーキング大会への支援 4,400千円

鳥取県中部地震からの復興と飛躍の姿を国内外にアピールし、国際的な大会へとステップアップを図る大会を支援する。

大会名称	SUN-IN未来ウォーク	SUN-IN未来100kmウォーク
時 期	6月3日～4日	11月(予定)
事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行委員会	NPO法人未来
参加目標	3,000人以上	100～200人
補助対象	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等
補助率等	定額(上限3,400千円)	1/2(上限1,000千円)

(3) 海外とのネットワークの拡大と次世代を担うリーダーの育成 2,580千円

海外のトレイル関係者と連携し、自然体験を通じた人材育成と情報発信を行う。

委託先想定	NPO法人未来(ワールド・トレイルズ・ネットワーク会員)
委託内容	海外の青年の招へい、県内の青年との自然体験事業の企画・実施 (県内トレイルコース案の実踏、大山や山陰海岸ジオパークにおける自然体験と情報発信等)

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) 平成28年10月に、トレイル(自然歩道)による地域づくりの国際会議と県中部一円のウォーキング大会「第6回WTC鳥取大会」(主催:WTC鳥取大会実行委員会)を日本で初めて開催し、世界33カ国・地域から延べ4,500人が参加した。
- (2) ウォーキングコースへの高い評価を得た一方で、コースサインやガイドの不足、継続的に受入可能な旅行商品の造成が課題となった。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局 (電話:080-5622-3988)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携推進事業	15,500	15,500	0				15,500	
トータルコスト	23,448千円 (前年度 23,298千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取中部ふるさと広域連合(以下「広域連合」という。)が策定した「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるため、広域連合と連携して中部圏域の広域観光を担う一般社団法人鳥取中部観光推進機構の強化を図るとともに、観光地域づくりや観光交流人口の拡大等を図る。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業【15,000千円】

広域連合が「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるために、マーケティング等の強化を図りながら県施策と連携して実施する観光誘客事業について必要な経費の一部を補助する。

項目	内容
事業主体	広域連合
補助率	1/2
補助上限額	15,000千円
対象経費	人件費、広告宣伝費、委託料、プロモーション旅費等

(2) 県職員の駐在に要する経費【500千円】

観光業務担当職員が広域連合に駐在するための使用料、役務費、負担金

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成25年度から27年度までは鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業として、県の観光担当職員が広域連合に駐在し広域連合と連携した体制により、「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、役割分担及び情報共有により効果的に事業計画の作成や事業展開を行ってきた。
- ・「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、「鳥取中部広域観光戦略会議」において取組の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信すると共に、中部・東部を結ぶ定期観光バス等の2次交通整備及びワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会への参画、旅行商品の開発・プロモーション等を通し、圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客にも取り組んだ。
- ・中部圏域が有している温泉、食、日本遺産、ウォーキングリゾート、国立公園等の観光資源をベースに東部・西部圏域、岡山県北部(蒜山)とも連携した観光地域づくりを進め、一元的に情報発信するなど日本版DMOの強化等を図り、戦略的に国内外から観光客誘致を促進する。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,295千円（前年度 1,280千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）を記念して開催される櫻杯争奪相撲選手権大会について、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やか活力ある地域づくりにつなげるため、開催を支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 第39回櫻杯争奪相撲選手権大会（倉吉市） (2) 第33回わんぱく相撲全国大会派遣（両国国技館）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ・ 昭和54年に第1回を開催した。県内外からの参加者（小・中学生）や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、中国地方有数の相撲大会として定着している。 ・ 第32回わんぱく相撲全国大会（平成28年8月開催）では、鳥取県代表選手が個人戦でベスト8（わんぱく小結）が誕生し、好成績を収めた。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	2,849	2,919	△70				2,849	
トータルコスト	8,413千円（前年度 8,378千円）[正職員0.7人]							
主な業務内容	地域づくり団体・関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	観光の振興							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 中部圏域の振興を図るため、地域資源の活用、広域観光、三徳山世界遺産登録運動等について、地域住民及び地元自治体等と連携して取り組む。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 地域住民・団体による地域資源を活用した地域づくり活動との連携・支援（自然・歴史・文化・景観等） (2) 広域観光の推進等による国内外からの誘客推進 (3) ウォーキングを活用した地域づくり (4) 三徳山世界遺産登録運動の推進 (5) 鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業等；文化振興の推進 など</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ・ 鳥取中部ふるさと広域連合との連携強化や、（一社）鳥取中部観光推進機構への参画等を通して、中部圏域全体の広域観光の取組を推進した。 ・ ウォーキングを通じた誘客を目指して、ウォーキングリゾートの取組を推進した。 ・ 三徳山の世界遺産登録に向けて、推進協議会の情報発信部会の事務局を担い、広報・啓発・地域活動の支援等を推進した。 ・ 鳥取力創造運動活動団体、（公財）とっとり県民活動活性化センターや鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業とも連携して、各種地域活動との連携・支援を実施した。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9371）

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																																				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																					
(新) 伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業	96,332	0	96,332	44,666			51,666																																					
トータルコスト	153,558千円（前年度 0千円）[正職員：7.2人]																																											
主な業務内容	イベント企画運營業務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整																																											
工程表の政策目標（指標）	伯耆国「大山開山1300年祭」事業実施、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会等運営、伯耆国「大山開山1300年祭」の情報発信を推進する。																																											
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】																																								
<p>1 事業の目的・概要 平成30年の伯耆国「大山開山1300年祭」の開催に向けて、平成29年度をプレ・イヤーと位置付け、圏域市町村等と連携したイベントの実施や情報発信により機運醸成と認知度の向上を図るとともに平成30年の実施事業の内容充実に活かしていく。</p> <p>2 主な事業内容 伯耆国「大山開山1300年祭」各プロジェクトに基づき、同祭実行委員会が主催実施する事業、市町村・民間団体が実施する事業及び民間団体等が行う同祭を応援する活動を支援する事業等を展開するとともに、情報発信を行う。</p> <p>全体事業費 183,377千円（原則負担割合：県1/2、地元自治体1/2）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>全体事業費（千円）</th> <th>県負担額（千円）</th> <th>市町村負担額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伯耆国「大山開山1300年祭」主催事業</td> <td style="text-align: center;">64,687</td> <td style="text-align: center;">37,487</td> <td style="text-align: center;">27,200</td> </tr> <tr> <td>伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業</td> <td style="text-align: center;">33,690</td> <td style="text-align: center;">16,845</td> <td style="text-align: center;">16,845</td> </tr> <tr> <td>伯耆国「大山開山1300年祭」支援事業</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">2,500</td> <td style="text-align: center;">2,500</td> </tr> <tr> <td>広報・受入体制</td> <td style="text-align: center;">23,000</td> <td style="text-align: center;">11,500</td> <td style="text-align: center;">11,500</td> </tr> <tr> <td>事務局経費</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td style="text-align: center;">7,000</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> </tr> <tr> <td>小計（1300年祭実行委員会）</td> <td style="text-align: center;">141,377</td> <td style="text-align: center;">75,332</td> <td style="text-align: center;">66,045</td> </tr> <tr> <td>観光客受入環境整備</td> <td style="text-align: center;">42,000</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> <td style="text-align: center;">21,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">183,377</td> <td style="text-align: center;">96,332</td> <td style="text-align: center;">87,045</td> </tr> </tbody> </table> <p>※圏域を超えた全県的な機運醸成・支援的取組といった一部事業は県予算を上乗せして拡充実施</p>									事業内容	全体事業費（千円）	県負担額（千円）	市町村負担額（千円）	伯耆国「大山開山1300年祭」主催事業	64,687	37,487	27,200	伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業	33,690	16,845	16,845	伯耆国「大山開山1300年祭」支援事業	5,000	2,500	2,500	広報・受入体制	23,000	11,500	11,500	事務局経費	15,000	7,000	8,000	小計（1300年祭実行委員会）	141,377	75,332	66,045	観光客受入環境整備	42,000	21,000	21,000	合計	183,377	96,332	87,045
事業内容	全体事業費（千円）	県負担額（千円）	市町村負担額（千円）																																									
伯耆国「大山開山1300年祭」主催事業	64,687	37,487	27,200																																									
伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業	33,690	16,845	16,845																																									
伯耆国「大山開山1300年祭」支援事業	5,000	2,500	2,500																																									
広報・受入体制	23,000	11,500	11,500																																									
事務局経費	15,000	7,000	8,000																																									
小計（1300年祭実行委員会）	141,377	75,332	66,045																																									
観光客受入環境整備	42,000	21,000	21,000																																									
合計	183,377	96,332	87,045																																									
<p>3 これまでの取組状況、改善点 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会（平成28年10月25日設立）が策定した事業コンセプトに沿って、歴史や文化、自然、食などの「大山」の多様な魅力を磨き上げながら、各プロジェクトの具体事業を組み立てて国内外への情報発信に繋げ、「大山」のブランド化を進めながら誘客、圏域の発展に繋げていく。</p>																																												

4 各事業の概要

(1) 伯耆国「大山開山1300年祭」主催事業（実行委員会直接実施事業）（※主なもの）

事業名	内容	関連市町村
大山の恵みプロジェクト		
歴史をキーワードにした紙面对談、歴史雑誌とタイアップしたガイドブック製作	著名人と鳥取・島根両県の歴史有識者との「大山」と「出雲」について語る紙面对談をはじめ、歴史雑誌とタイアップした「伯耆国・大山」ガイドブックの製作等	大山町
刀剣コンテンツイベント	名工「伯耆安綱」にスポットをあて、大山圏域との関連性を県外へ周知するため、刀剣コミック作者、著名人等による刀剣トークイベントをはじめ、鑑賞イベントなどを実施	米子市・大山町
緑と星空プロジェクト		
星取県キックオフイベント	星取県キックオフイベントとして5つの星にスポットあてたイベントの実施 《5つの星》 星空、ホタル、漁り火、夜の光（夜の水木ロード、花回廊イルミ等）、大山の光（御来光、たいまつ行列、大献灯等）	大山町 伯耆町 江府町
「ホーリー・トレイル」大山・三徳山ルート(限定版)大会	大山古道のひとつ大山・川床道から三徳山へのルートを2つの日本遺産を結ぶ象徴的ルートと位置付けて、「大山詣り（トレイルウォーキングイベント）」のプレ実施	大山町
水と食プロジェクト		
大山開山1300年祭記念名物料理開発	春夏、秋冬の2季節の1300年祭記念名物料理を開発（28年度は冬の料理を開発中）	西部圏域市町村
大山ブランドフェスティバル（市町村おもてなし料理開発）	市町村における地元食材活用した大山ブランドによるおもてなしメニュー開発、モニターツアー参加者による合同試食会開催	西部圏域市町村

(2) 伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業（市町村連携実施事業）

事業名	内容	実施市町村
大山の恵みプロジェクト		
古代ロマン観光周遊ルートサミット（古事記関連観光周遊ルートサミット）	古事記を活用した観光ルート構築を目指す地域が一堂に会するサミットを開催	南部町
緑と星空プロジェクト		
地上の星（ホタル）鑑賞、ダイヤモンド大山鑑賞、妖怪ナイトウォーク	南部町の金田川へのほたるガイド付きの鑑賞イベント、「大山」山頂の朝日（ダイヤモンド大山）撮影・見物者の受入環境整備、夜の水木しげるロードイベントなど	境港市、南部町
奥日野たたら製鉄モニターツアー（スマホウォーキングモニターツアー）	都合山遺跡、旧根雨宿などの「たたら」スポットについて、スマートフォンアプリを活用してウォーキングを行うモニターツアーを実施	日野町
大山の原風景”茅葺き屋根”再生体験イベント等	御機の茅葺き屋根の再生体験を実施するとともに大山道を活用したウォーキングイベントの開催等	江府町
大山-三徳山ロングトレイル連携事業	「ホーリー・トレイル」大山・三徳山ルート(限定版)大会と連携したウォーキングイベントを実施	倉吉市、三朝町、琴浦町
水と食プロジェクト		
大山開山年1300年祭記念地ビール限定醸造	大山開山1300年祭記念の限定醸造を活かしたイベント	伯耆町
大山開山1300年記念 奥日野「食」パワーブランド化事業	日野郡新ご当地グルメ「たたらんち」のブラッシュアップと併せ、県外旅行者とタイアップしたモニターツアーの実施等	日野町、日南町、江府町

(3) 伯耆国「大山開山1300年祭」支援事業

民間団体等の伯耆国「大山開山1300年祭」を応援する活動を支援するため実施する事業

補助金名	支援内容
地元魅力向上補助金	地元ガイド育成・研修会実施・機運醸成等の取組を支援。特に優秀な事業については拡充支援実施。 通常 @200千円・定額×25団体

(4) 広報・受入体制・環境整備

ホームページ、ノベルティ、パンフレット等作成
周辺市町村による環境整備（大山パワーブランド化、大山山麓周遊事業等）

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費 <地方機関計上予算>

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
大山中海振興費	10,235	6,825	3,410			〈雑入〉 6	10,229											
トータルコスト	16,593千円（前年度：13,063千円）〔正職員：0.8人、非常勤職員：1人〕																	
主な業務内容	二次交通（大山るーぶバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、大山町参道拠点整備事業補助金、観光客動向調査等																	
工程表の政策目標（指標）	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進																	
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 大山・中海エリアを訪れる観光客の利便性向上を図るため、観光二次交通の整備（大山るーぶバスの運行支援）や大山参道の施設整備の支援を行うとともに、西部管内における国際リゾート推進に向けた外国人観光客の動向調査、観光情報の収集等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（2）大山足湯整備補助金（平成29年度分）</td> <td style="text-align: right;">193千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（3）大山町参道拠点整備事業補助金（平成29年度分）</td> <td style="text-align: right;">3,638千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（4）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）</td> <td style="text-align: right;">1,895千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（5）事務費</td> <td style="text-align: right;">3,009千円</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 大山るーぶバスの運行や大山寺参道の足湯整備等、観光客にとってより地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めてきた。米子ソウル便及び香港便、DBSクルーズに加え、大型クルーズ客船の寄港、海外からのチャーター便の増加など増加傾向にある外国人観光客に対応するため、大山町が実施する大山寺参道の拠点整備などの支援により、国際リゾート推進に向けた一層の取組を行う。</p>									（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円	（2）大山足湯整備補助金（平成29年度分）	193千円	（3）大山町参道拠点整備事業補助金（平成29年度分）	3,638千円	（4）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）	1,895千円	（5）事務費	3,009千円
（1）大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500千円																	
（2）大山足湯整備補助金（平成29年度分）	193千円																	
（3）大山町参道拠点整備事業補助金（平成29年度分）	3,638千円																	
（4）非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光商工情報収集等）	1,895千円																	
（5）事務費	3,009千円																	

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局 (電話: 0859-31-9629)

1目 観光費<地方機関計上予算>

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム「サイクリングリゾート」推進事業	20,229	9,669	10,560				20,229	
トータルコスト	30,561千円 (前年度 19,806千円) [正職員: 1.3人]							
主な業務内容	スポーツツーリズムの推進							
工程表の政策目標(指標)	サイクリングの環境整備やスポーツイベントの支援を行うとともに、サイクリングや登山による国内外の観光客誘致を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
サイクリングコースの整備及び整備済区間の維持管理を行い、国内外からのサイクリング誘客を促進する。また、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山SEA TO SUMMITなどのスポーツイベントの開催支援を行い、スポーツツーリズムの適地として地域のブランド化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) サイクリング環境整備事業 12,979千円 (単位: 千円)								
事業名	内容						予算額	
弓ヶ浜サイクリングコース(皆生海岸ルート)維持管理	日野川左岸河口から皆生温泉を経て夜見町に至る区間(延長7.5km)の維持管理費						4,979	
弓ヶ浜サイクリングコース(夢みなと工区)設計	夢みなとタワーから国道431号夢みなと公園入口交差点の区間の測量設計費						7,620	
環境美化活動支援	沿線におけるサイクリングルートへの関心を高めるための環境美化等活動への支援						380	
(2) スポーツイベント開催支援事業 7,250千円 (単位: 千円)								
名称(開催予定時期)	主催						予算額	
全日本トライアスロン皆生大会(7月)	皆生トライアスロン協会等						5,000	
皆生・大山 SEA TO SUMMIT(5月)	皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会						1,000	
中海オープンウォータースイム(6月)	中海オープンウォータースイム実行委員会						750	
アウトドアスポーツフェスタ(9月)	鳥取県アウトドアスポーツ協議会						500	
3 これまでの取組状況、改善点								
<サイクリング環境整備事業>								
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年9月、大山や日本海の眺望を楽しみながら弓ヶ浜半島沿岸をゆったりとサイクリングできるコースとして「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の一部区間「皆生海岸ルート(約7.5km)」が完成、供用を開始した。 ・残る区間(約7.8km)については、境港外港竹内南地区における貨客船ターミナル整備に合わせ、平成31年度末の完成を目指す。 								
<スポーツイベント開催支援事業>								
<ul style="list-style-type: none"> ・全日本トライアスロン皆生大会と環境型スポーツイベントSEA TO SUMMITは当地が国内発祥の地であり、毎回、全国各地から応募がある注目度の高い大会となっている。 ・中海オープンウォータースイムは、日本選手権出場枠を設定したことに加え、平成28年度には他大会と併せたポイントランキング制を導入したことで県外からの集客効果が高まっている。 ・アウトドアスポーツフェスタは、次世代を担う若年者向けのイベントとして競技団体、参加者いずれからも高い評価を得ており、今後の発展が期待できる。 								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 〔震災復興支援〕 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット開催事業	28,560	0	28,560				28,560	
トータルコスト	40,482千円（前年度 0千円） [正職員：1.5人]							
主な業務内容	会議開催に係る企画・立案、各地域・関係部局等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、会議準備・運営等							
工程表の政策目標（指標）	環日本海における大交流新時代の拠点をめざし、当該友好地域（韓国江原道、中国河北省・吉林省、モンゴル中央県、ロシア沿海地方・ハバロフスク地方）との多様な分野でのグローバルかつ幅広い交流を促進し戦略的な連携を構築する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」を鳥取県中部地域で開催する。</p> <p>第22回を数える今回は、鳥取県中部地震で被災した中部地域で初めて開催するサミットとして、防災、災害からの復興等における地域の役割を議論する。また、平成30年2月（平成29年度）に韓国江原道平昌で冬季五輪が開催されることを好機とし、国際観光振興、スポーツ交流を含む多彩な分野の相互協力の強化等を議論する。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット（本会議）の開催								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期：平成29年4月上中旬〔本会議〕 ・ 会場：倉吉未来中心（倉吉市） ・ 重点テーマ（案）：ゆるぎない絆で新時代を拓く ～災害復興、経済発展、観光振興～ ・ 招聘人数：地方政府代表者各地域5名（首長ほか4名） ・ 経費負担：鳥取県…日本国内における滞在費 参加地域…各参加地域から日本への渡航費 ・ 通訳形式：同時通訳 ・ サミット開催に併せて実施される関連事業（予定）：経済協議会、環境保護機関実務者協議会、美術作品展示会、マスコミ代表者会議 								
(2) 事業費：28,560千円								
<ul style="list-style-type: none"> ・ サミット運營業務に係る委託料 10,000千円（平成28年11月月議会債務負担行為済） ・ サミット同時通訳・翻訳等業務に係る委託料 10,000千円（同上） ・ 県主催歓迎レセプション経費、会場・車両借上料他 8,560千円 								
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>本サミットは、鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方を構成員として、平成6（1994）年より開催（平成12（2000）年からモンゴル中央県が参加）。これまでに、サミットでの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、マスコミ代表者会議等が設立された。さらに、DBS航路、米子ーソウル便の利用促進に対する相互協力等についても合意がなされるなど、各分野での相互連携、協力の契機となっている。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7079）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
(新) モンゴル中央県 友好交流20周年記念 事業	6,071	0	6,071				6,071
トータルコスト	10,045千円（前年度 0千円） [正職員：0.5人]						
主な業務内容	記念事業開催に係る企画・立案、モンゴル・関係部署等との連絡調整、記念事業設営業務委託契約締結等						
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。						
事業内容の説明							
<p>1 事業の目的・概要 平成29年にモンゴル中央県との友好交流締結20周年を迎えることから、訪問団の相互派遣など、両地域が共同し、記念事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) モンゴル中央県友好交流20周年記念事業の開催 ア 中央県代表団の受入 ○時 期：平成29年4月上中旬（北東アジア地方政府サミットに併せて実施） ○場 所：鳥取県内 ○内 容（案）： ・鳥取県主催20周年記念式典の開催 ・「交流のあゆみ展」開催 ・両地域の青少年芸能団による演技披露 等 イ 鳥取県代表団の派遣 ○時 期：平成29年7月頃 ○場 所：モンゴル中央県 ○派遣団：県代表、鳥取県モンゴル中央県親善協会、県内児童・生徒 ○内 容（案）： ・中央県主催20周年記念式典への参加 ・「交流のあゆみ展」開催 ・両地域の青少年芸能団による演技披露 ・現地の日本語学級生徒と県内児童・生徒との交流 等</p> (2) 事業費 6,071千円 ※うち1,155千円（記念事業運営委託経費）…平成28年11月議会債務負担行為設定済み <p>3 これまでの取組状況、改善点 平成9年にモンゴル中央県と友好交流に関する覚書を締結して以来、農業や行政分野の研修生の受入や医療専門家の派遣等を行い、同地の農業、行政、医療等の向上を進めるとともに、人的ネットワークの構築、相互理解を促進してきた。平成29年度は、友好交流20周年を契機とし、これらの取組を振り返るとともに今後の交流を展望する。</p>							

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7079）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
多地域連携スポーツ交流事業	3,058	5,142	△2,084				3,058																
トータルコスト	5,442千円（前年度 7,481千円） [正職員：0.3人]																						
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行、通訳等																						
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																						
事業内容の説明																							
1 事業の目的・概要 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、多地域間の青少年の交流や相互協力の拡大を図る。																							
2 主な事業内容 (1) 友好交流地域が開催する国際スポーツ大会への相互派遣（946千円） ・ウラジオストクマラソン、グラウンドゴルフ国際大会（湯梨浜町）など (2) 3地域（鳥取県、江原道、沿海地方）青少年スポーツ交流事業（2,112千円） ・バドミントン、テニスのスポーツ交流（場所：江原道、時期：7月中旬、各16名程度）																							
3 これまでの取組状況、改善点 北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいる。																							
ロシア極東地域交流推進事業	4,510	4,599	△89				4,510																
トータルコスト	20,406千円（前年度 19,415千円） [正職員：2.0人]																						
主な業務内容	ロシア極東地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																						
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。																						
事業内容の説明																							
1 事業の目的・概要 ロシア極東地域との交流を推進するため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。																							
2 主な事業内容 (1) 青少年交流（2,500千円）																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">時 期</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方訪問</td> <td style="text-align: center;">7月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県訪問</td> <td style="text-align: center;">8月頃</td> <td style="text-align: center;">15名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア極東地域囲碁交流団の鳥取県訪問</td> <td style="text-align: center;">11月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問</td> <td style="text-align: center;">2月頃</td> <td style="text-align: center;">8名程度</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	時 期	人 数	鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方訪問	7月頃	10名程度	ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県訪問	8月頃	15名程度	ロシア極東地域囲碁交流団の鳥取県訪問	11月頃	10名程度	ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問	2月頃	8名程度
内 容	時 期	人 数																					
鳥取県青少年環境交流団のロシア沿海地方訪問	7月頃	10名程度																					
ロシア沿海地方青少年柔道交流団の鳥取県訪問	8月頃	15名程度																					
ロシア極東地域囲碁交流団の鳥取県訪問	11月頃	10名程度																					
ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問	2月頃	8名程度																					
(2) 交流地域での鳥取県PR（1,500千円） 第8回鳥取県文化デイズ（時期：9月頃、場所：ハバロフスク地方）																							
(3) 県民向けのロシア紹介（510千円） 国際交流員によるロシア講座（ロシアの歴史・文化等の紹介、ロシア料理・手芸体験等）																							
3 これまでの取組状況、改善点 ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施し、鳥取県の認知度は高くなってきた。平成28年12月の日露首脳会談を受けた国レベルの交流の拡大を追い風に、交流の一層の発展を図る。																							

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進事業	7,385	7,395	△10				7,385	
トータルコスト	23,281千円（前年度 24,551千円） [正職員：2.0人]							
主な業務内容	韓国（江原道）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国（江原道）との交流を推進するため、鳥取県及び江原道の職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語発表大会を開催する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	予 算			
江原道職員（1名）の受入や交流協議団の相互派遣等				年 間	4,146千円			
江陵国際青少年芸術祝典への青少年団（18名程度）の派遣				7月下旬	1,130千円			
琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成（琴浦町と同額負担）				年 間	804千円			
「話してみよう韓国語」鳥取大会開催（鳥取県国際交流財団へ委託）				12月頃	1,305千円			
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県と江原道間の相互理解、人的ネットワークの構築に寄与している。平成29年度は、平昌五輪の開催を好機として、交流の一層の発展を図る。								
中国交流推進事業	2,368	1,390	978				2,368	
トータルコスト	10,316千円（前年度 9,188千円） [正職員：1.0人]							
主な業務内容	中国（吉林省・河北省）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
中国との交流を推進するため、県内大学生を吉林省に派遣し、中国語の学習、文化体験、当地の学生との交流を実施するとともに、日中国交正常化45周年を記念して開催される「日中友好都市卓球交歓大会」に本県と河北省の青少年が合同チームを編成して参加するほか、交流の発展に資する会議に参加する。								
2 主な事業内容								
内 容				時 期	人 数	予 算		
吉林省青少年交流事業（県内大学生の派遣）				8月	10名程度	639千円		
吉林省「第2回日中韓地方政府協力会議」への参加				8月	3名程度	500千円		
河北省青少年交流事業（卓球交流団の派遣）				8月	5名程度	819千円		
河北省交流協議団の派遣				4月	3名程度	410千円		
3 これまでの取組状況、改善点								
河北省とは1986年に友好提携、吉林省とは1994年に友好交流の覚書を交わしてからこれまで交流を推進してきた。これからは特に次代の交流を担う人材育成を念頭に置き交流を推進する。 ※平成28年度に別事業で整理していた河北省との交流事業を一本化								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7079)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
モンゴル中央県交流推進事業	4,463	4,478	△15				4,463	
トータルコスト	10,821千円 (前年度 10,716千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	モンゴル(中央県)との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
モンゴル中央県との交流を推進するため、医療専門家の派遣、農業技術研修員の受入れを行う。また、平成26年度に創設した奨学金制度により、中央県出身者の県内大学への留学を支援する。								
2 主な事業内容								
	内 容	時 期	人 数	予 算				
	医療専門家派遣	9月	4名程度	1,136千円				
	農業研修員受入	9~10月	1名	382千円				
	農業専門家派遣	7月	1名	400千円				
	行政実務研修生受入	12月	3名程度	460千円				
	中央県からの留学生への奨学金	-	1名	1,940千円				
	事務費	-	-	145千円				
	合 計			4,463千円				
3 これまでの取組状況、改善点								
モンゴル中央県とは平成9年に友好交流の覚書に調印し、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきた。鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と協力しながら、交流を推進する。								
台湾交流推進事業	5,692	5,686	6				5,692	
トータルコスト	12,845千円 (前年度 12,704千円) [正職員: 0.9人]							
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
台湾台中市との交流を推進するため、台湾で日本語を履修する大学生を対象に、県内宿泊施設での職場体験を実施するとともに、中学生サマースクール団の受入や台中市で開催される温泉イベント等への芸能団の派遣等を行う。								
2 主な事業内容								
	内 容	時 期	人 数	予 算				
	海外大学生インターンシップ(体験就業)受入	7~8月	30名程度	996千円				
	台中市サマースクール団受入(隔年相互派遣)	7~8月	20名程度	306千円				
	台中市への芸能団派遣	2月	12名程度	1,490千円				
	台中市温泉イベントへの参加	8月	16名程度	900千円				
	台中市への交流協議団派遣ほか	-	-	2,000千円				
3 これまでの取組状況、改善点								
梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、本県の知名度向上と相互理解の深化に繋がっている。今後は同市とのこれまでの交流実績を基盤として、温泉を切り口とした観光交流等にも取組を拡大し、交流を推進する。								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7595)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ジャマイカ・ウェストモアランド県交流推進事業	20,669	25,866	△5,197			(基金繰入金) 20,669		
トータルコスト	28,617千円 (前年度 33,664千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	ジャマイカ・ウェストモアランド県との各種交流事業等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明	【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】							
1 事業の目的・概要	ジャマイカ・ウェストモアランド県との交流を推進するため、各種交流事業を実施する。							
2 主な事業内容	(1) 職員派遣事業 (1,638千円) JICAの自治体連携事業を活用し、県職員をウェストモアランド県に派遣する。(通年) (2) 青少年交流事業 (8,005千円) 県内の青少年をウェストモアランド県に派遣し、英語学習、現地高校生等との交流を行う。(10月頃・10名程度) (3) マラソン交流事業 (4,881千円) 鳥取マラソン(3月)とウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。(派遣選手2名、受入選手2名) (4) 友好交流・国際貢献事業 (5,145千円) 本県が持つ技術力による支援を実施するため、技術者を相互派遣する。 (5) (新) ウェストモアランド県PR事業 (1,000千円) 多くの県民の目に触れることができる施設に紹介コーナーを設置する。							
3 これまでの取組状況、改善点	平成28年3月にウェストモアランド県・モーア知事が来県し、姉妹提携を締結したことを受けて、多彩な分野で交流を進め、交流の絆をゆるぎないものとする。							
ブラジル交流推進事業	13,639	12,801	838				13,639	
トータルコスト	25,561千円 (前年度 24,498千円) [正職員: 1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標(指標)	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。							
事業内容の説明	1 事業の目的・概要 母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。 2 主な事業内容 (1) 技術研修員・留学生受入事業 (9,087千円) ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の場を設け、交流を推進するとともに、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。(研修員1名、留学生1名) (2) 中堅リーダー交流(派遣)、日本語指導員派遣事業 (4,552千円) ・ブラジルへ中堅リーダーを派遣し、民間主体による自立した交流の活性化を図る(2名)。 ・第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員(教員1名)を派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。 3 これまでの取組状況、改善点 ○留学生・研修生には専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており、帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献している。 ○各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。							

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	9,867	7,253	2,614				9,867	
トータルコスト	11,457千円（前年度 8,813千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	研修機関等との連絡調整、委託契約事務 等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 本県の友好交流先との関係を強化するため、中国・吉林省、ジャマイカ・ウェストモアランド県の職員を研修員として受け入れる。 2 主な事業内容 (1) 受入人数：2名（予定：中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名） (2) 受入時期：5月中旬に来日し、全国市町村国際文化研修所で約1ヶ月の日本語研修。 その後、来県してから翌年3月中旬の帰国まで、県庁等で専門研修。 3 これまでの取組状況、改善点 ○平成8年から受け入れを開始し、現在までに計32名を受け入れている。（内訳：吉林省17名、江原道10名、ウェストモアランド県1名、その他4名） ○研修員は、帰国後も本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。								
国際交流員活動費	76,873	76,646	227			(雑入) 233	76,640	
トータルコスト	82,437千円（前年度：82,105千円） [正職員：0.7人、非常勤職員：15.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等							
工程表の政策目標(指標)	地域に国際交流員を派遣することによって、県民の国際感覚の涵養、国際理解の促進を図る。							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。 2 主な事業内容 (1) 15名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。 (2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。 3 これまでの取組状況、改善点 平成28年度は新規に中国（広東語圏）国際交流員を1名増員し、平成28年9月に就航した香港航空の米子-香港便に係る利用促進等に対応している。 <国際交流員の地域別内訳> 韓国5名、中国3名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名 計15名								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課 (内線: 7595)

1 目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	49,264	50,328	△1,064				49,264	
トータルコスト	54,033千円 (前年度 55,007千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の実現に向けて、市町村、県内大学等と連携するとともに、鳥取県国際交流財団の活動を支援する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行うため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成 (49,064千円) (補助率1/2 (一部10/10))								
事業名	補助額	内 容						
ア 多言語情報発信事業	1,218千円	ホームページ運営・メールマガジン配信等						
イ コミュニケーション支援事業	6,739千円	日本語クラスの運営、専門通訳ボランティア派遣、防災・災害時支援等						
ウ 人材の育成事業	475千円	専門通訳ボランティア等人材のスキルアップ支援						
エ ボランティア活動の推進と活性化事業	84千円	ホームステイ活性化プログラムの実施						
オ 県民の国際理解推進事業	9,946千円	在住外国人と地域住民の相互交流促進等						
カ 私費留学生奨学金の支給	3,632千円	私費留学生への奨学金支給						
キ 事務所費、運営費	26,970千円	事務所運営、職員人件費等経費						
(2) 事務費 (200千円)								
3 これまでの取組状況、改善点 県全域を対象とした国際交流に係る公益法人として、在住外国人及び県民の国際交流等を支援している。								
国内交流推進事業	2,905	3,905	△1,000				2,905	
トータルコスト	6,084千円 (前年度 7,024千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務							
工程表の政策目標(指標)	国内交流の推進に向けて、市町村や民間団体が実施する新たな交流及び鳥取県発祥の伝統芸能を継承している地域との交流を支援する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の鳥取県とゆかりのある地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。								
2 主な事業内容 国内交流補助金 2,500千円 (最大2年間支援可能)								
対象事業	・新たに行う国内交流事業 (既存の交流分野の拡大を含む) ・(新) 鳥取県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業							
事業実施主体	県内市町村 (複数市町村による連携含む) 及び民間団体							
補助率	1/2 (上限額 500千円)							
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費 (旅費、謝金、委託料、使用料等)							
3 これまでの取組状況、改善点 国内交流トライアル補助金を見直し、消滅しつつある鳥取県発祥の県外の伝統芸能等の継続発展を図るため、対象事業を拡大した。								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
交流ネットワーク活用事業	16,966	17,546	△580			(収益事業 収入) 6,000	10,966	
トータルコスト	20,940千円（前年度 27,683千円） [正職員：0.5人]							
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、東南アジアとの交流、国内、海外県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託（800千円）：会員（国際交流員等で県内に滞在した外国人）へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。</p> <p>(2) 鳥取県サポーター育成事業（1,380千円）：海外の大学生等を招致し、県内大学生との交流、県内産業の視察等を行い、鳥取県のサポーターを育成する。</p> <p>(3) 県外県人会等との協働による情報発信（241千円）：県人会の催事に参加し、活動支援を行う。</p> <p>(4) (一財)自治体国際化協会の分担金（6,000千円）：海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担する。</p> <p>(5) 海外県人会助成事業（1,035千円）（補助率10/10）：海外の3つの県人会の活動に助成する。</p> <p>(6) 青少年国際協力支援事業（720千円）（補助率10/10）：青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。</p> <p>(7) 事務費（6,790千円）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行い、ふるさと納税などへの協力を依頼している。また、県人会、ファンクラブ各会員、海外サポーターには口コミやSNS等で鳥取県の情報を広くPRしていただいている。</p>								
鳥取県国際関係調整費	14,982	17,276	△2,294				14,982	
トータルコスト	30,878千円（前年度 32,872千円） [正職員：2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 北東アジア地域等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための事務的経費である。</p> <p>2 これまでの取組状況、改善点 予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	30,201	30,201	0			(手数料) 23,000	7,201	
トータルコスト	44,507千円（前年度 44,237千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	円滑な旅券発給と窓口対応の向上、各種情報（渡航情報等）のタイムリーな提供を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。</p> <p>2 主な事業内容 県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場の8箇所に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。</p> <p>○委託業務の概要（28,701千円）</p> <p>①委託対象業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話案内、申請・交付窓口業務（県庁・中部総合事務所・西部総合事務所） ・旅券作成業務（全窓口分） <p>②委託期間：平成25年4月1日から5年間（平成25～29年度）</p> <p>※参考：委託対象外業務 旅券作成の最終審査業務及び慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務（判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応）等</p> <p>○事務費（1,500千円）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 窓口従事者の研修等により住民利便の向上を図った。</p>								

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7079）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	134,501	127,314	7,187				134,501	
事業内容の説明								
一般職員19名分の人件費である。								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 1目 企画総務費

交流推進課（内線：7079）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(終了)河北省友好提携30周年記念事業	0	5,321	△5,321					
トータルコスト	0千円（前年度 6,881千円）							
事業内容の説明								
(終了)平成28年度単年度事業として実施したため								
(終了)沿海地方友好交流25周年記念事業	0	5,969	△5,969					
トータルコスト	0千円（前年度 7,529千円）							
事業内容の説明								
(終了)平成28年度単年度事業として実施したため								
(終了)第二アリアンサ鳥取村入植90周年記念事業	0	4,379	△4,379					
トータルコスト	0千円（前年度 5,939千円）							
事業内容の説明								
(終了)平成28年度単年度事業として実施したため								
(終了)第21回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	0	1,250	△1,250					
トータルコスト	0千円（前年度 10,608千円）							
事業内容の説明								
(終了)平成29年度は鳥取県においてサミットを開催することから、当該参加事業としては終了								

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) まんが・アニメ ツーリズム推進事業	26,645	0	26,645				26,645	
トータルコスト	33,003千円(前年度 0千円)〔正職員:0.8人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県に縁のあるまんがや新たなアニメ資源を活用したインバウンド観光や国内観光を促進するため、全国組織であるアニメツーリズム協会やJRなどとも連携して集客を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内 容
(新) アニメツーリズム協会との連携	4,150	・アニメ聖地巡礼88プロジェクト((一社)アニメツーリズム協会)への参画 ・聖地記念碑等の設置(4地域程度を予定)
(新) アニメ資源活用誘客促進補助金	4,000	「ロケ参考地」等として縁のあるアニメを活用した観光資源の涵養・PRの取組を支援 ○2,000千円×2地域 ○補助率:1/2以内 ○対象事業者:市町村・観光協会等 ○補助対象事業:地域でのファンもてなし向上、ファン向け催事開催、関連スポット広報資料、国内外プロモーション活動、アニメ活用推進の調査研究
(新) まんが王国とっとり巡り企画	7,800	新たなアニメの資源も含めた関連場所の周遊促進とソーシャルメディア等での拡散による情報発信 ○アニメ総合展示会出展による情報発信 ○写真コンテストによる関連場所の情報発信 ○関連場所紹介を含む総合ガイドブックの刊行 ○関連場所・駅・空港を巡る催事の実施
(新) 新たな手法による海外プロモーション	8,895	○香港ブックフェアへの出展 ○海外アニメファンに特化した手法によるプロモーション(台湾、タイ) ○海外まんががアニメ学校を活用した情報(まんが王国とっとり講義実施、モニターツアー受入 台湾)
(新) 鬼太郎列車&鬼太郎フェリーライナー	1,500	JRや島根県等と共同でJR境線に隠岐フェリー及び隠岐を加えた鬼太郎に因むクイズラリーを実施し、広域観光を推進する。
(新) 全国コナンファン誘客促進	300	「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」開催に合わせ県内のコナン関連場所などを周遊するツアーを造成する。
合 計	26,645	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・本県の水木しげるロードやコナン通りは観光誘客に一層活用していく必要があるが、新たなアニメ資源の「ロケ参考地」等を巡るファンも増えており、いわゆる「アニメ聖地巡礼」が注目されている。
- ・平成28年9月には、アニメによるニューツーリズムを目指して(一社)アニメツーリズム協会が設立されたこともあり、連携して新たな手法による広域的なプロモーションと周遊観光を促進していく必要がある。
- ・平成30年の夏には、山陰デスティネーションキャンペーンが計画されており、まんが・アニメを活かしたJRや島根県の連携にも新たに取り組んでいく必要がある。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発ソフト パワー事業	102,409	106,914	△4,505	281		(雑入) 16	102,112	
トータルコスト	127,843千円(前年度 145,904千円) [正職員:3.2人、非常勤職員2.0人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】				
<p>1 事業の目的・概要 鳥取県の強みの一つであるまんがを活用した「まんが王国とっとり」の取組を推進し、国内外に情報発信することで観光誘客につなげるとともに、取組を支える地域文化を醸成する。</p> <p>2 主な事業内容</p>								
(単位:千円)								
項目	予算額	内 容						
国際マンガコンテスト の開催	11,948	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成とともに海外ネットワークを拡大する。 (1) 部門 1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー漫画 (2) 賞 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、U-15賞 (3) スケジュール ・作品募集 (H29.4~9) ・入賞者発表 (H29.12) ・表彰式・作品集発行 (H30.2)						
国際声優コンテスト 「声優魂」鳥取大会の開催	3,600	声優をめざす中高校生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施する。 ・予選:7月、本選:8月						
(新) 鳥取県産アニメ制作 支援・活用促進事業	1,728	地元企業が制作するアニメを活用して本県の広報、情報発信PR動画を作成することによりコンテンツ産業の育成を図る。						
海外プロモーション	2,000	海外イベントへの出展等、これまでのネットワークを活かした海外プロモーションを展開する。(谷ロジロー作品の活用等)						
高知県との連携	1,500	まんが王国友好通商条約を締結している高知県とニコニコ超会議等首都圏での共同PRや、両県のイベントへの相互出展を行う。						
まんが王国とっとりプロ デュース会議	382	外部専門家による会議を開催する。						
(新) 郷土の漫画家再発 見事業	836	海外漫画の研究者等を招き、本県出身の漫画課の魅力を地元で再認識する。						

(単位：千円)

項目	予算額	内容
まんが王国活動支援補助金	39,000	市町村・民間団体が取組むまんがを活用した事業を支援する。 ○地域拠点形成事業 21,000千円 補助率 1/2 限度額 7,000千円 採択団体数 3 ○まんがを活用した地域活性化事業 18,000千円 <特定事業> 第6次米子映画事業 限度額 12,000千円 <公募事業> 補助率 1/2 限度額 1,000千円 採択団体数 6
空の駅おもてなし事業	562	空港に設置した記念撮影用AR(拡張現実)装置の運営
情報発信	25,857	・「まんが王国とっとり通信」の発行 A3判・年4回・11,800部 ・著作物使用料 ・着ぐるみPR活動 ・情報発信 ・国際マンガサミット事務局との連携
非常勤職員人件費	5,098	非常勤職員2名
事務費	9,898	事務用品購入、通信運搬等に要する経費
合計	102,409	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・「まんが王国とっとり」の取組により、県・市町村・民間が一体となった多様な催事展開、PR活動や、県内の2空港をいずれも世界に例のないまんが名(鬼太郎・コナン)の空港とするなど独自の取組により国内外で認知が進み、観光誘客が図られている。
- ・外部有識者の提案・意見も踏まえながら、「まんが王国とっとり」の取組を進めていく。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)まんが王国とっとり妖怪パワー発進事業	6,183	0	6,183				6,183	
トータルコスト	7,773千円(前年度 0千円)〔正職員:0.2人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

水木しげる先生の遺業を活かし、境港市と連携して妖怪パワーを再発進することで、いっそうの情報発信と観光誘客を推進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内 容
水木しげる生誕祭開催事業	4,183	水木しげる先生のふるさとへの功績を顕彰・共有し併せて知名度向上・観光誘客を図る催事として境港市と共同で開催する。 開催時期 平成30年3月
怪フォーラム開催	1,000	徳島県、岩手県とともに「怪フォーラム2017inとくしま」を開催し、怪遺産第1号地域である境港をPRする。 開催時期 平成29年11月
(新)水木しげる全国巡回展PR事業	1,000	他府県で開催される故水木しげる先生の展覧会に鳥取県コーナーを設け、水木しげるロード等「先生のふるさと鳥取」をPRする。
合計	6,183	

※「水木しげる生誕祭」は、平成28年度は9月定例会において、「怪フォーラム」については、平成28年度は平成27年度臨時会において予算措置

3 これまでの取組状況、改善点

水木しげるロード及び水木しげる記念館の入込客数は、平成27年11月30日の先生の死後、増加に転じており、その効果を継続させる必要がある。

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
(新)まんが王国コナンで誘客促進事業	20,436	0	20,436	2,000			18,436																			
トータルコスト	25,205千円(前年度 0千円)〔正職員:0.8人〕																									
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施																									
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。																									
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】																						
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>「鳥取といえばコナン」を国内外に向けて発信し、コナンの知名度を活かした観光誘客を推進する。</p>																										
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項 目</th> <th style="width: 10%;">予算額</th> <th style="width: 70%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名探偵コナンまつり</td> <td style="text-align: center;">8,305</td> <td>・「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」を開催する。(時期:8月) ・障がい者対応を充実する。</td> </tr> <tr> <td>鳥取砂丘コナン空港集客イベント</td> <td style="text-align: center;">4,000</td> <td>鳥取砂丘コナン空港の認知度向上と賑わい創出を目的としたイベントを開催する。</td> </tr> <tr> <td>(新)コナンのふるさと首都圏PR事業</td> <td style="text-align: center;">6,000</td> <td>コナンファンが集まる催事や媒体を通じ、首都圏中心にコナンファンを対象として誘客を図るためのPR活動を行う。</td> </tr> <tr> <td>名探偵コナンイラスト列車運行</td> <td style="text-align: center;">2,131</td> <td>名探偵コナン列車を平成30年度の山陰デスティネーションキャンペーンまで2台運行を継続するための装飾補修等を行う。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">20,436</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									項 目	予算額	内 容	名探偵コナンまつり	8,305	・「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」を開催する。(時期:8月) ・障がい者対応を充実する。	鳥取砂丘コナン空港集客イベント	4,000	鳥取砂丘コナン空港の認知度向上と賑わい創出を目的としたイベントを開催する。	(新)コナンのふるさと首都圏PR事業	6,000	コナンファンが集まる催事や媒体を通じ、首都圏中心にコナンファンを対象として誘客を図るためのPR活動を行う。	名探偵コナンイラスト列車運行	2,131	名探偵コナン列車を平成30年度の山陰デスティネーションキャンペーンまで2台運行を継続するための装飾補修等を行う。	合 計	20,436	
項 目	予算額	内 容																								
名探偵コナンまつり	8,305	・「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」を開催する。(時期:8月) ・障がい者対応を充実する。																								
鳥取砂丘コナン空港集客イベント	4,000	鳥取砂丘コナン空港の認知度向上と賑わい創出を目的としたイベントを開催する。																								
(新)コナンのふるさと首都圏PR事業	6,000	コナンファンが集まる催事や媒体を通じ、首都圏中心にコナンファンを対象として誘客を図るためのPR活動を行う。																								
名探偵コナンイラスト列車運行	2,131	名探偵コナン列車を平成30年度の山陰デスティネーションキャンペーンまで2台運行を継続するための装飾補修等を行う。																								
合 計	20,436																									
<p>※「名探偵コナンまつり」、「鳥取砂丘コナン空港集客イベント」、「名探偵コナンイラスト列車」については、平成28年度は平成27年度臨時会において予算措置</p>																										
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県出身の漫画家、青山剛昌氏の代表作「名探偵コナン」は連載開始から22年になり、単行本の国内総発行部数は1億6千万部を超える超人気作品であり、平成28年度に開催した「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」でも全国のコナンファン約2,000人が来場する盛況ぶり。 ・鳥取砂丘コナン空港の愛称化、名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの実施などにより「鳥取=コナン」の認知度は高まりつつあり、平成27年度の青山剛昌ふるさと館入館者数は開館以来最多となったが、この流れを維持し、取組を継続・強化することで一層の観光誘客を図る。 																										

平成29年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取砂丘コナン 空港展示装飾拡充事業	5,898	0	5,898				5,898	
トータルコスト	7,488千円(前年度 0千円)〔正職員:0.2人〕							
主な業務内容	展示装飾の企画・設計・施工の委託・管理							
工程表の政策目標(指標)	まんがを活かして国内外に情報発信する。 まんがを活かして国内外から誘客を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 鳥取砂丘コナン空港の一体化工事に伴い、既存展示装飾の移設を行うとともに、新設されるメインエントランスを中心にコナン空港の愛称にふさわしい展示装飾を拡充する。</p> <p>2 主な事業内容 展示装飾に係る企画、設計を行うとともに、移設の必要な展示装飾の施工を行う。</p> <p>＜移設が必要な展示装飾＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムスペース(国内線到着ロビーの展示装飾) ・キャラクターロード(連絡通路の展示装飾) ・喫茶ポワロ(国際会館2階の再現展示)ほか <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取空港の利用を促進する懇話会は、平成26年11月に鳥取空港の愛称を「鳥取砂丘コナン空港」とすることを決定。空港の愛称に「コナン」という名称を使用するに当たり、県は鳥取砂丘コナン空港にふさわしい展示装飾を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期整備:平成27年3月 リニューアルオープン ・第2期整備:平成27年12月グランドオープン ・鳥取空港の一体化工事により、平成29年度に空港施設が改修されるに当たり、展示装飾においても移設・新設等拡充が必要となる。 								

平成29年度当初 組織改正に伴う移管事業一覧

【一般会計】

交通政策課 → 観光交流局観光戦略課

(単位：千円)

事業名	予算額	財 源 内 訳				備 考
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
国内航空便利用促進事業	61,053	1,660			59,393	
新たな航空旅客創出事業	73,550	14,250			59,300	
国際航空便利用促進事業	83,910	1,820			82,090	
合 計	218,513	17,730			200,783	

平成29年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

節	款 項 目	2款 総務費					7款 商工費			
		うち観光交流局					うち観光交流局			
		2項 企画費	1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費	1項 商業費				
1	報 酬	550,245	58,165	58,165	58,128	37		96,209	13,944	
2	給 料	2,951,742	72,162	72,162	72,162			463,356	132,930	
3	職員手当等	4,427,125	36,271	36,271	36,271			232,898	66,815	
4	共 済 費	1,143,458	35,876	35,876	35,876			208,216	50,232	
5	災害補償費	500								
6	恩給及び退職年金	20,389								
7	賃 金	33,606								
8	報 償 費	262,617	1,027	1,027	1,027			584,588	3,849	
9	旅 費	239,482	43,550	43,550	41,653	30	1,867	91,038	32,967	
	費用弁償	28,034	5,437	5,437	5,107	30	300	19,131	3,875	
	普通旅費	158,510	16,964	16,964	15,647		1,317	51,795	23,776	
	特別旅費	52,938	21,149	21,149	20,899		250	20,112	5,316	
10	交 際 費	3,600								
11	需 用 費	531,870	14,891	14,891	13,981		910	63,903	32,029	
	食糧費	29,302	8,476	8,476	8,086		390	12,860	4,264	
	その他の需用費	502,568	6,415	6,415	5,895		520	51,043	27,765	
12	役 務 費	548,656	10,693	10,693	10,093		600	52,494	15,024	
13	委 託 料	5,290,706	309,070	309,070	77,131	114,877	117,062	824,922	406,643	
14	使用料及び賃借料	847,679	22,110	22,110	20,530		1,580	153,454	36,627	
15	工事請負費	1,374,886						41,373	10,368	
16	原 材 料 費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費	134,683	400	400	400			7,075		
19	負担金、補助及び交付金	8,166,863	295,769	295,769	64,722		231,047	9,529,203	729,181	
20	扶 助 費									
21	貸 付 金							535,854	16,289	
22	補償、補填及び賠償金	2,000								
23	償還金、利子及び割引料	170,200								
24	投資及び出資金							1,500		
25	積 立 金	134,793								
26	寄 付 金									
27	公 課 費	243						40		
28	繰 出 金							9,194		
	予 備 費									
	計	26,835,343	899,984	899,984	431,974	114,944	353,066	12,895,317	1,546,898	16,289
財	国庫支出金	2,353,218	17,730	17,730			17,730	251,218	107,944	
源	地 方 債	1,857,000						38,000		
内	そ の 他	3,253,179	49,902	49,902	49,902			601,756	50,318	16,289
訳	一 般 財 源	19,371,946	832,352	832,352	382,072	114,944	335,336	12,004,343	1,388,636	

平成29年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

款 項 目 節	7款 商工費			観光交流局 合 計	
	うち観光交流局				
	1項 商業費	3項 観光費			
	3目 金融対策費	1目 観光費			
1 報 酬		13,944	13,944	72,109	
2 給 料		132,930	132,930	205,092	
3 職員手当等		66,815	66,815	103,086	
4 共 済 費		50,232	50,232	86,108	
5 災 害 補 償 費					
6 恩給及び退職年金					
7 賞 金					
8 報 償 費		3,849	3,849	4,876	
9 旅 費		32,967	32,967	76,517	
費用弁償		3,875	3,875	9,312	
普通旅費		23,776	23,776	40,740	
特別旅費		5,316	5,316	26,465	
10 交 際 費					
11 需 用 費		32,029	32,029	46,920	
食糧費		4,264	4,264	12,740	
その他の需用費		27,765	27,765	34,180	
12 役 務 費		15,024	15,024	25,717	
13 委 託 料		406,643	406,643	715,713	
14 使用料及び賃借料		36,627	36,627	58,737	
15 工 事 請 負 費		10,368	10,368	10,368	
16 原 材 料 費					
17 公有財産購入費					
18 備 品 購 入 費				400	
19 負担金、補助及び交付金		729,181	729,181	1,024,950	
20 扶 助 費					
21 貸 付 金	16,289			16,289	
22 補償、補填及び賠償金					
23 償還金、利子及び割引料					
24 投資及び出資金					
25 積 立 金					
26 寄 付 金					
27 公 課 費					
28 繰 出 金					
予 備 費					
計	16,289	1,530,609	1,530,609	2,446,882	
財 源 内 訳	国庫支出金		107,944	107,944	125,674
	地方債				
	その他	16,289	34,029	34,029	100,220
	一般財源		1,388,636	1,388,636	2,220,988

節 の 明 細

項 目		一般事業要求	調整+政策事業要求	金額(千円)等
2款	総務費			
2項	企画費			
1目	企画総務費			
給料	一般職員		19人	
報酬	国際交流員	15人		15人
負担金、補助及び交付金	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500		500
	吉林省青少年交流事業負担金	639		639
	河北省青少年卓球交流員負担金	425		425
	河北省卓球交流大会運営費用分担金	40		40
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224		224
	モンゴル留学生支援補助金	1,940		1,940
	自治体国際化協会負担金	1,670		1,670
	鳥取県国際交流財団助成事業費補助金	49,064		49,064
	国際交流拠点整備費負担金	6,000		6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000		1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400		400
	青年海外協力隊普及広報活動支援補助金	320		320
	国内交流補助金	2,500		2,500
2目	計画調査費			
報酬	指定管理施設運営評価委員	4人		4人
3目	交通対策費			
負担金、補助及び交付金	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	8,500		8,500
	米子-ソウル国際定期便に係る運行経費補助金	71,203		71,203
	国際定期便利用促進協議会負担金	10,000		10,000
	空港利用促進懇話会負担金	39,895		39,895
	航空エアサポート支援負担金	12,000		12,000
	国際定期便利用促進協議会負担金		2,500	2,500
	全国地域航空システム推進協議会負担金	129		129
	鳥取砂丘コナクン空港出店トライアル支援事業補助金		2,500	2,500
	鳥取砂丘コナクン空港早朝利用者おもてなし支援事業補助金		1,000	1,000
	鳥取砂丘コナクン空港圏域二次交通整備支援事業補助金		8,100	8,100
	米子-香港国際定期便に係る運航経費補助金		70,000	70,000
	米子香港便交流創出支援事業補助金		2,400	2,400
	米子香港港継利用促進事業補助金		900	900
	香港・マカオへの教育・修学旅行支援事業補助金		1,920	1,920
7款	商工費			
1項	商業費			
3目	金融対策費			
貸付金	観光開発促進資金貸付金	16,289		16,289
3項	観光費			
1目	観光費			
給料	一般職員		35人	
報酬	水木しげる生誕祭プロポーザルコンペ審査委員	3人		3人
	国際マンガコンテスト審査員	10人		10人
	非常勤職員	7人	0	7人
負担金、補助及び交付金	(公社)日本観光振興協会負担金	718		718
	(公社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700		700
	(公社)日本観光振興協会中国支部負担金	120		120
	(公社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200		200
	中国地域観光推進協議会負担金	50		50
	山陰観光連盟負担金	324		324
	(一社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50		50
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	27,400		27,400
7款	商工費			
3項	観光費			
1目	観光費			
負担金、補助及び交付金	コンベンション開催助成費補助金	19,625		19,625
	(公社)鳥取県観光連盟運営費負担金	94,578		94,578
	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	1,718		1,718
	文化資産学習会開催助成支援補助金	400		400
	温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト支援事業補助金	6,012		6,012
	温泉地魅力向上事業負担金(いなば温泉郷協議会)	1,310		1,310
	温泉地魅力向上事業負担金(皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会)	6,000		6,000
	宿泊促進WEB対策事業補助金	22,500		22,500
	ニューツーリズム普及促進支援補助金	9,000	0	9,000
	教育旅行誘致推進事業補助金	2,000		2,000
	着地型観光・体験情報発信事業補助金	3,132		3,132
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援)	12,000	18,000	30,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(旅行商品造成支援)	10,000		10,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(観光バスポート作成支援)		3,000	3,000
	「日本の旬 瀬戸内・山陰」キャンペーン事業負担金	3,000		3,000
	因幡・但馬・丹後広域観光協議会負担金	500		500
	鳥取・岡山広域観光協議会負担金	2,000		2,000

節 の 明 細

項 目	一般事業要求	調整+政策事業要求	金額(千円)等
「デイスカパーウェスト」連携協議会負担金	5,000		5,000
鳥取自動車道活性化協議会負担金	900		900
NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420		420
鳥取県観光二次交通運行支援補助金	17,310	6,523	23,833
鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	15,000	0	15,000
多言語音声翻訳システム実証実験支援補助金	10,000		10,000
イルミネーション支援補助金	7,500		7,500
クルーズ客船受入推進事業補助金	4,370		4,370
山陰デスティネーションキャンペーン協議会負担金		53,000	53,000
鳥取県外国人観光客送客促進事業補助金	27,920		27,920
鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	15,000		15,000
鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	2,000		2,000
中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	3,800		3,800
中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000		1,000
京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000		1,000
関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800		800
東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,200		1,200
国際観光振興機構負担金	660		660
東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	800		800
山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500		500
IR西日本連携事業負担金	1,000		1,000
国際定期便利用促進協議会負担金	1,100		1,100
サイクルトレイン・サイクルバス普及推進事業補助金		500	500
山陰インバウンド機構運営事業負担金		73,250	73,250
観光団体向け観光需要回復支援事業補助金		10,000	10,000
災害時における外国人観光客対応支援補助金		2,000	2,000
星空体験プログラムづくり事業補助金		5,400	5,400
魅力ある滞在エリア創造支援事業補助金		11,000	11,000
鳥取の旅づくり・魅力ある観光地づくり事業補助金		4,320	4,320
駅頭観光イベント開催等負担金		2,000	2,000
鳥鉄の旅魅力造成支援補助金		7,500	7,500
東浜周辺整備補助金		1,267	1,267
鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金		10,000	10,000
7款 商工費			
3項 観光費			
1目 観光費			
負担金、補助及び交付金			
まんが王国活動支援補助金	39,000		39,000
国際マンガサミット参加負担金	100		100
(一社)アニメツーリズム協会負担金		150	150
アニメ資源活用誘客促進補助金		4,000	4,000
ウォーキングコース旅行商品化補助金	4,000		4,000
鳥取中部圏域広域観光連携推進事業補助金	15,000		15,000
鳥取中部ふるさと広域連合への県職員駐在に係る庁舎負担金		80	80
SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金	1,800	1,600	3,400
韓国人ウオーカー誘客促進事業補助金	1,000		1,000
鳥取県櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400		400
大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500		1,500
湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193		193
参道拠点整備事業補助金		3,638	3,638
エコツーリズム推進事業補助金	2,800		2,800
山陰限定通訳案内士活用事業補助金		750	750
全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000		5,000
皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	1,000		1,000
アウトドアスポーツフェスタ開催支援補助金	500		500
中海オープンウォータースイム開催支援補助金	750		750
鳥取県体育施設協会負担金	11		11
伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会負担金		75,332	75,332
大山山麓観光推進協議会負担金		21,000	21,000
日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	1,200		1,200

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度未までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度未までの支出(見込)額 千円		当該年度以降の支出予定額 千円		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金 千円	特 定 財 源 地方債 千円	そ の 他 千円	一般財源 千円
平成22年度 足湯整備費補助	2,025	平成23年度から 平成28年度まで	1,158	平成29年度から 平成31年度まで	867				867
平成25年度 鳥取県立夢みなとタワー管理委託	592,145	平成26年度から 平成28年度まで	339,858	平成29年度から 平成30年度まで	226,572				226,572
平成28年度 参道にぎわい活性化支援事業補助	36,380			平成29年度から 平成38年度まで	36,380				36,380
平成28年度 特別養台列車誘致事業補助	13,928			平成29年度から 平成39年度まで	13,928				13,928

件名	議会の委任による専決処分の報告について (8) 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について (平成29年1月20日専決)
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定に基づき、次のとおり専決処分をしたので、同条第2項の規定により、これを本議会に報告する。</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 和解の相手方 鳥取市雲山219番地 日本交通株式会社 代表取締役 澤 志郎</p> <p>(2) 和解の要旨 県側の過失割合を10割とし、県は、損害賠償金24,851円を支払うものとする こと。</p> <p>(3) 事故の概要</p> <p>ア 事故発生年月日 平成28年10月23日</p> <p>イ 事故発生場所 米子市明治町地内</p> <p>ウ 事故の状況 鳥取県観光交流局観光戦略課所属の職員が、公務のため普通乗用自動車を運転中、駐車場で後退した際、右後方の安全確認が不十分であったため、駐車していた和解の相手方所有の小型乗用自動車に接触し、双方の車両が破損したものである。</p>